

圖

表

基本項目

健康寿命の延伸と健康を支え、守るための社会環境の整備

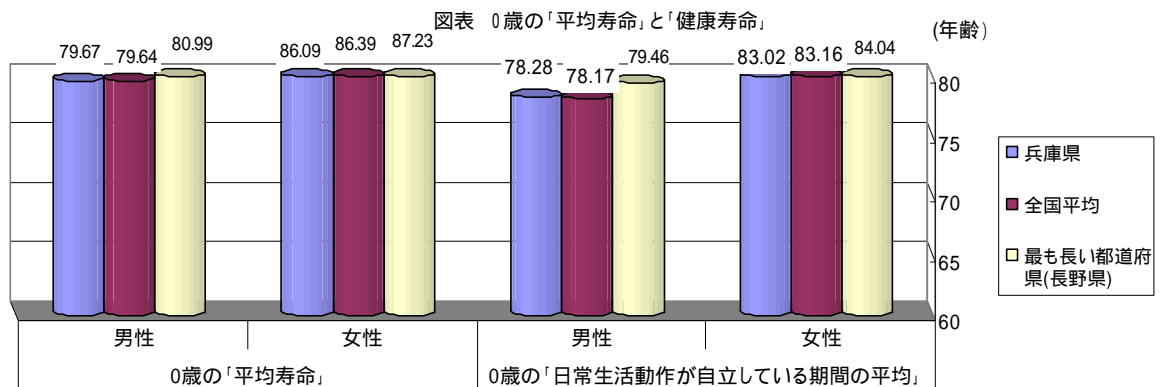
ア 健康増進計画の主な目標に対する達成状況(P2)

主な目標に対する達成状況(現行健康増進計画)

	目標	対象	目標値	達成状況
運動	(成人)意識的に運動を心がけている人の増加	男性	63%以上	
		女性	63%以上	
食生活	女性20歳代やせの者の割合の減少	20歳代女性	15%以下	×
	自分の適正体重を正しく認識する人の割合(15歳以上)	男性	85%以上	×
		女性	89%以上	×
	朝食を欠食する人の減少	12～14歳	2.3%以下	×
		15～19歳	10%以下	×
		20歳代男性	23%以下	×
食塩摂取量の減少	15歳以上	10g未満		
メタボを認知している人の割合の増加	成人	80%以上		
たばこ	喫煙率を下げる	男性	27.5%以下	
		女性	5.7%以下	
歯の健康	う歯のない幼児の増加	3歳児	83%以上	
	進行した歯周病の減少	40歳	22%以下	×
		50歳	33%以下	×

達成、改善、×悪化

イ 健康寿命の状況(P4)



資料：厚生労働科学研究「平成22年健康寿命の算定結果」

表 圏域別「0歳の日常生活動作が自立している期間の平均(H21-23年度)」

		男性	女性
全県		78.47	83.19
圏域別	神戸	78.61	83.14
	阪神南	78.26	82.78
	阪神北	80.07	84.18
	東播磨	78.45	83.00
	北播磨	78.71	83.67
	中播磨	77.25	82.67
	西播磨	77.60	82.94
	但馬	78.17	83.68
	丹波	77.86	83.12
	淡路	77.39	82.76

圏域毎の比較を行うため、厚労省算定方法に基づいた形で平成21-23年度分のデータから県独自に算定

厚労省算定の「0歳の日常生活動作が自立している期間の平均」の兵庫県値とは異なる

ウ 死因別 S M R (標準化死亡比) (P4)

S M Rとは：各地域の年齢階級別人口と標準集団（全国）の年齢階級別死亡率から期待死亡数を求め、当該地域の実際の死亡数が期待死亡数の何パーセントになるかを示すものであり、年齢構成の違いの影響を除いて死亡率を比較する指標である。S M Rは、対象集団の年齢階級別死亡率を用いていないため、直接法年齢調整死亡率よりも人口変動の影響を受けにくい。

表 圏域別 S M R

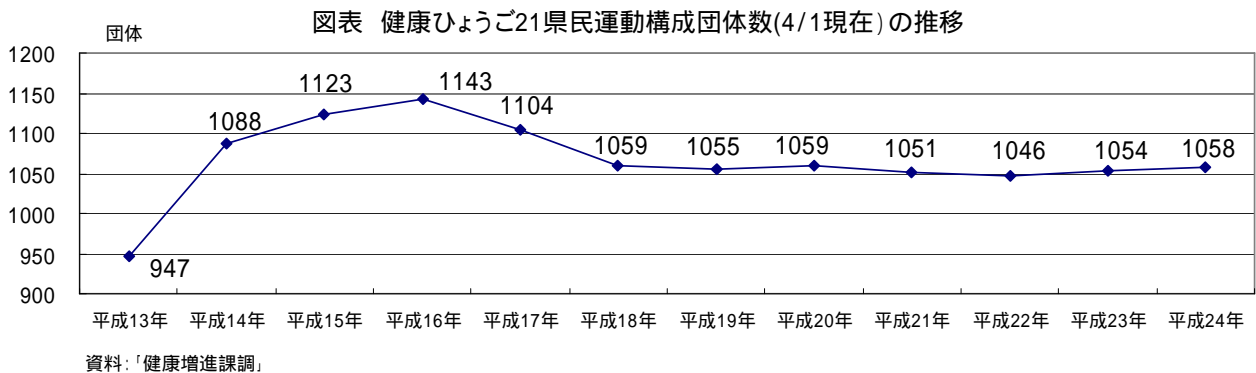
圏域	悪性新生物		急性心筋梗塞		脳血管疾患		肝疾患		腎不全		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
全 県	105.7*	103.1*	111.1*	115.9*	87.6-*	86.9-*	111.9*	113.6*	103.0	111.9*	
圏域別	神戸	107.9*	107.8*	97.6	94.9	82.8-*	79.1-*	122.9*	126.1*	96.9	104.2
	阪神南	114.3*	111.2*	108.5	112.9*	83.5-*	84.9-*	140.1*	120.8*	101.2	117.7*
	阪神北	98.1	101.5	110.2	128.8*	69.4-*	73.0-*	83.6	106.9	82.3-*	93.7
	東播磨	105.4*	102.9	114.1*	127.2*	92.9-*	96.8	102.4	129.7*	118.5*	133.1*
	北播磨	93.8-*	93.2-*	101.6	87.9	90.6-*	84.4-*	84.7	91.2	104.1	116.7
	中播磨	108.4*	103.0	130.2*	131.8*	100.6	98.3	106.0	104.9	142.9*	131.2*
	西播磨	106.6*	93.7-*	131.9*	146.0*	103.6	98.2	99.7	108.1	112.7	127.8
	但馬	97.5	89.0-*	112.8	116.1	94.4	89.9-*	106.4	72.9	81.2	93.7
	丹波	96.2	88.0-*	135.9*	156.9*	115.6*	114.3*	107.5	73.2	121.0	92.7
	淡路	102.9	97.8	127.6*	126.7*	90.2	90.8	109.8	109.5	75.5	96.1

資料：兵庫県「兵庫県健康科学研究センター調」

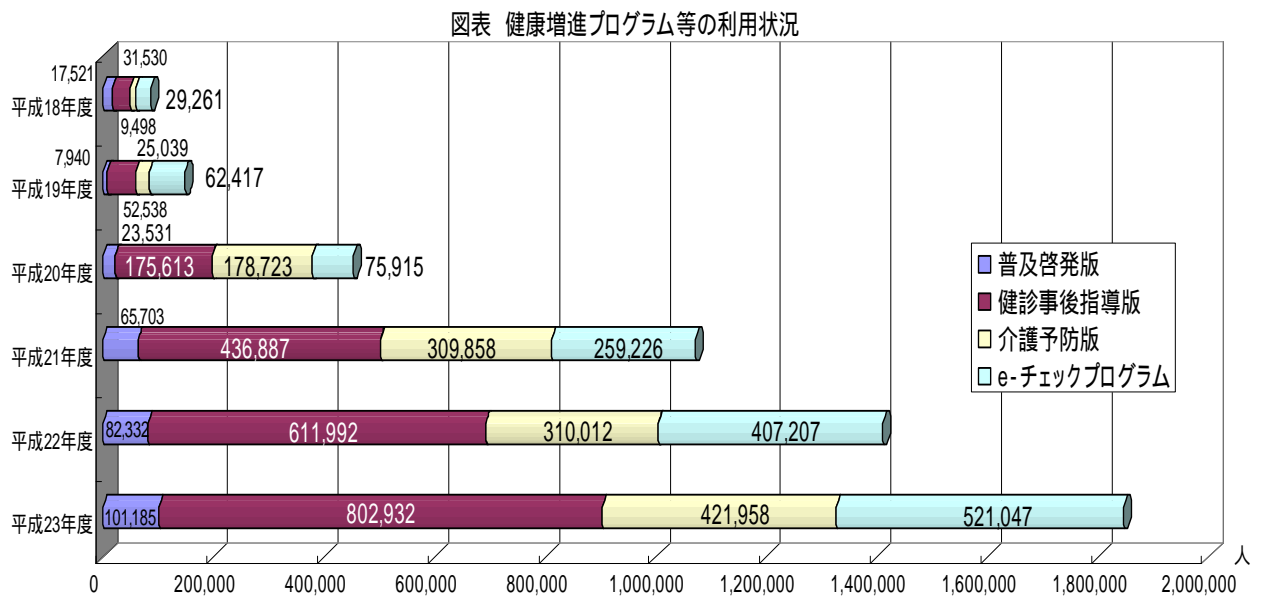
注1) 標準集団：平成18年～22年の全国の日本人、観察死亡数：平成18年～22年の死因別死亡数、年齢階級別人口：平成17、22年の国勢調査年齢5歳階級別日本人人口（100歳以上を一括）から各年ごとに内挿して求めた

注2) 検定の*は全国平均に比して有意（1%水準）に高いとき、-*は全国平均に比して有意（1%水準）に低いとき

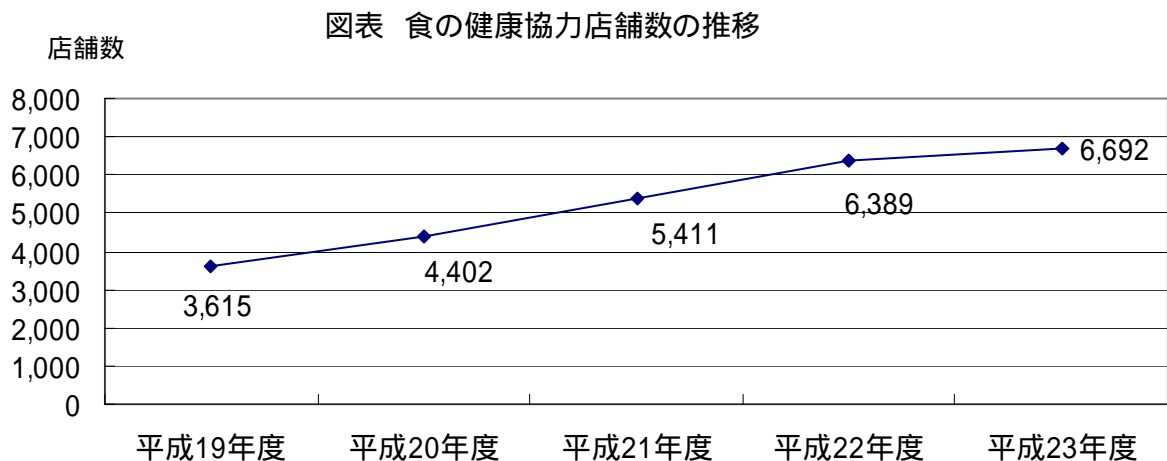
エ 健康ひょうご21県民運動構成団体数の推移 (P 5)



オ 健康増進プログラム等の利用状況 (P 5)

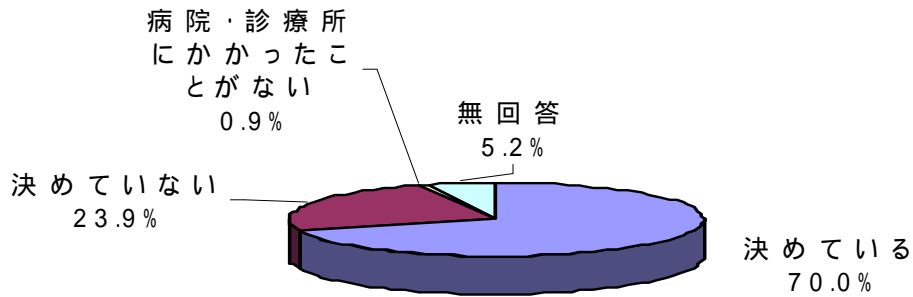


カ 食の健康協力店舗数の推移 (P 5)



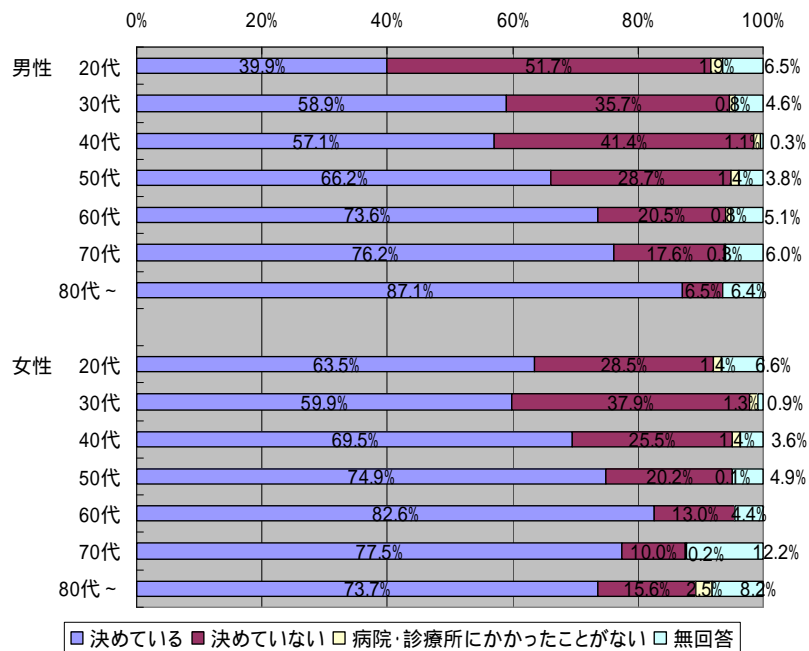
キ かかりつけ歯科医を決めている人の状況 (P5)

図表 かかりつけ歯科医について (N=2,278)



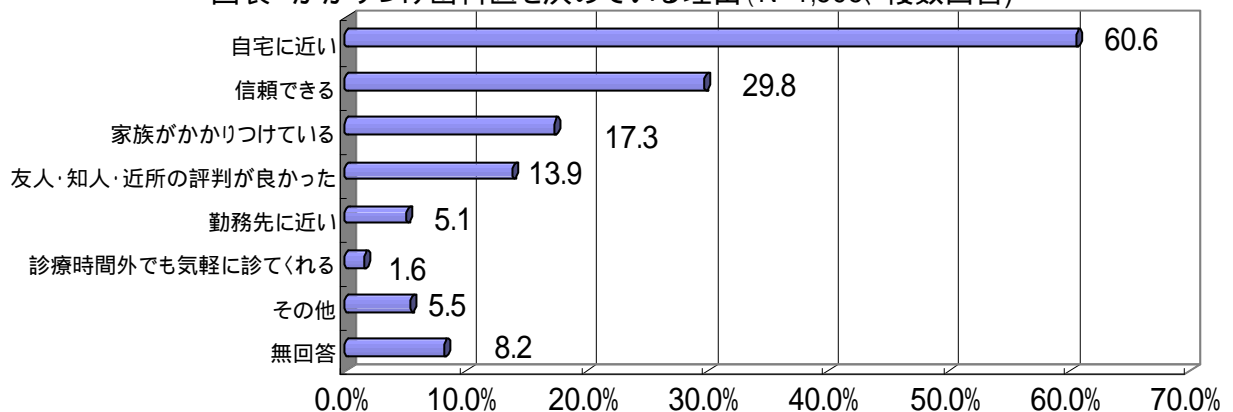
資料: 「平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査」

図表 性年代別かかりつけ歯科医をもつ人の割合



資料: 「平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査」

図表 かかりつけ歯科医を決めている理由 (N=1,595、複数回答)



資料: 「平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査」

ク 受動喫煙防止対策の実施状況 (P 5)

区 分	目標 (平成22年度) *1	目標達成状況	
		平成17年度	平成20年度
官公庁舎 (市町)	敷地内禁煙 または建物内禁煙100%	39.5%	78.0% *4
教育機関 (小中高校)	敷地内禁煙100%	33.0%	79.9% (97.5%) *5
教育機関 (大学、専門学校)		28.8%	36.1%
医療機関	敷地内禁煙 または建物内禁煙100%	78.6%	79.4%
運動施設	敷地内禁煙、建物内禁煙 または完全分煙100%	50.9%	84.8%
文化施設		78.7%	83.6%
交通機関 *2			34.7%
飲食店		13.1%	19.6%
宿泊施設		7.1%	17.1%
事業所		48.8%	49.0%
家庭		家庭内の妊婦や乳幼児のい る場での禁煙	78.3%
その他 *3	敷地内禁煙、建物内禁煙 または完全分煙100%		15.4%

*1 官公庁、教育機関、医療機関の目標達成年度は平成17年度

*2 交通機関については平成17年度と平成20年度で設問を変えているため平成17年度のデータなし

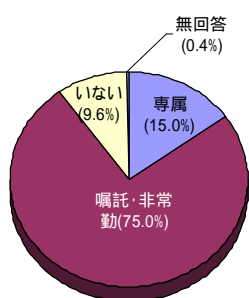
*3 その他として、平成17年度のデータはなく、平成20年度は娯楽施設 (パチンコ店・ゲームセンター) を調査

*4 平成24年度健康増進課調

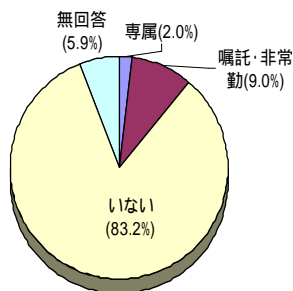
*5 公立学校 (幼・小・中・高) における「敷地内禁煙」の目標達成状況 (平成24年4月現在、体育保健課調)

ケ 事業場に配置されている産業医等の状況 (P 5)

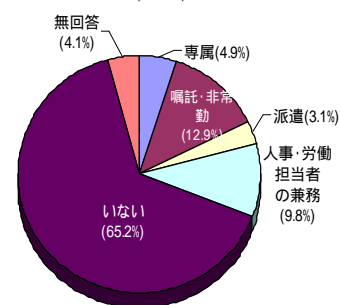
図表 事業場に配置されている産業医(N=512)



図表 事業場に配置されている精神科医(N=512)



図表 事業場に配置されているカウンセラー(N=512)



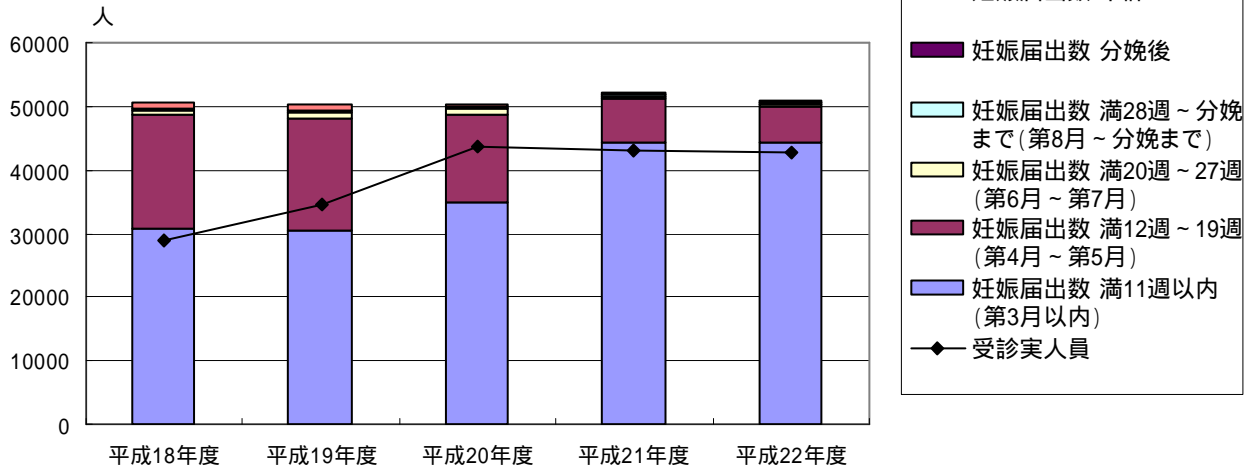
資料:兵庫産業保健推進センター「平成22年度産業保健調査研究報告書」

1 生活習慣病予防等の健康づくり

妊産婦期 (P17、P18)

ア 妊娠の届出及び妊婦健診の状況

図表 妊娠の届出及び妊婦健診の状況



資料: 「地域保健・健康増進事業報告(兵庫県値)」

イ 妊産婦死亡数

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成21年	平成22年
兵庫県(人)	1	3	3	1	5	3
全国(人)	105	85	78	62	53	45

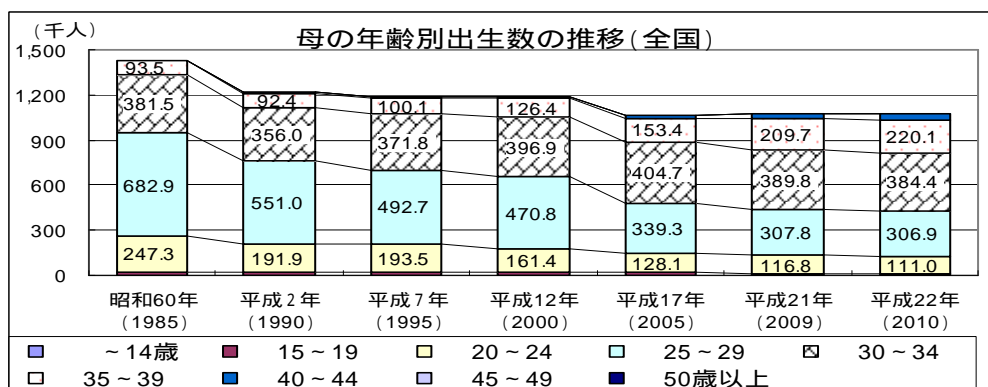
ウ 周産期死亡率

表 周産期死亡率の年次推移

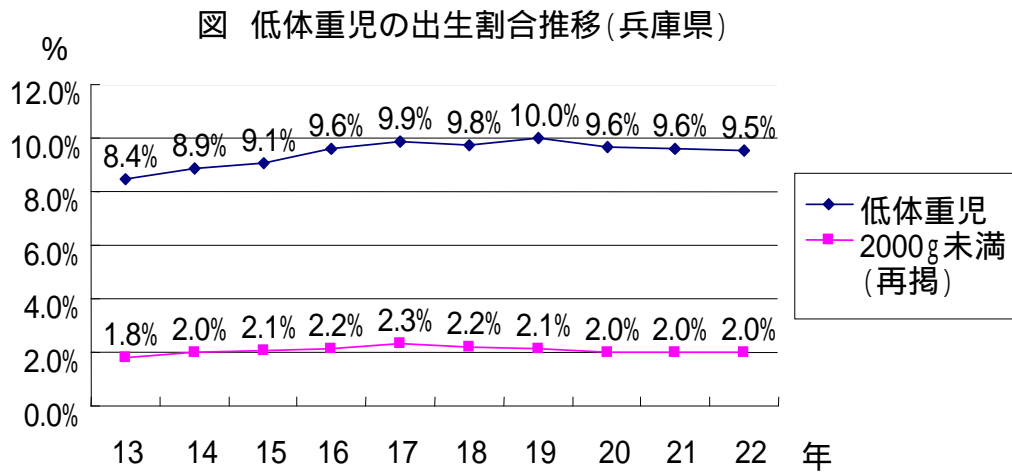
	1980年	1990年	1995年	2000年	2005年	2009年	2010年
兵庫県	18.9	10.0	5.9	5.3	4.8	4.0	3.6
全国	20.2	11.1	7.0	5.8	4.8	4.2	4.2

(出産千対 人口動態統計)

エ 母の年齢別出生数

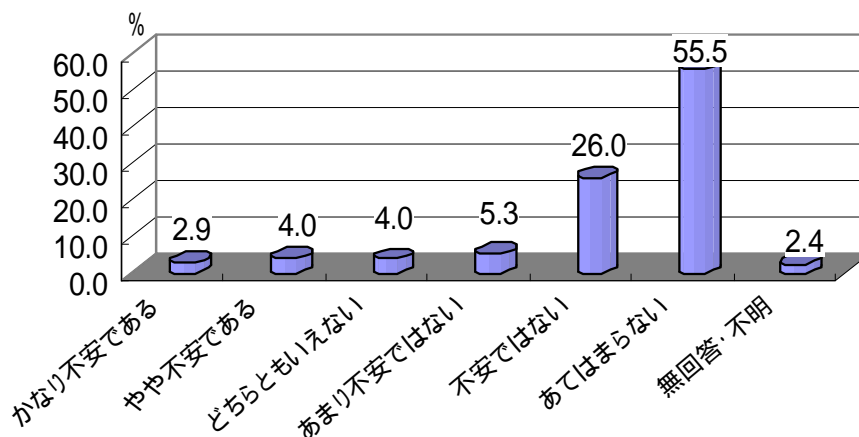


オ 低体重児の出生割合の推移



カ 妊娠出産時においてお酒やたばこがやめられないと不安に感じている人の割合

図表 妊娠出産時においてお酒やたばこがやめられないと不安に感じている人の割合



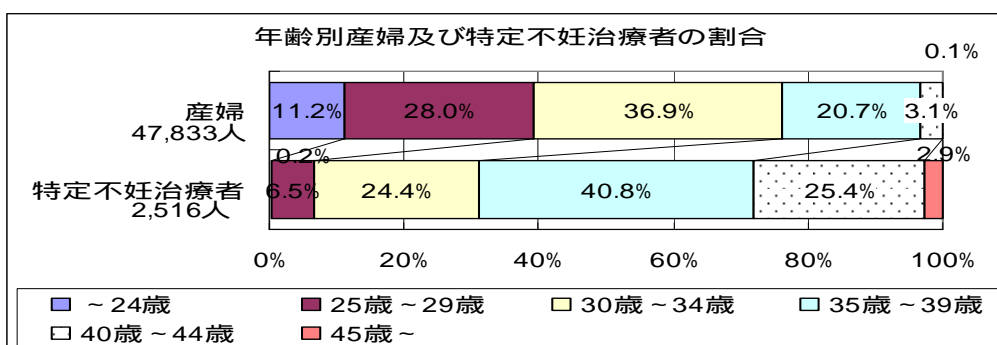
資料: 「平成 20 年度妊娠に関する実態調査報告書」

キ 兵庫県内の不妊治療の現状

兵庫県内特定不妊治療費助成件数について (平成16年度～23年度)

平成24年7月調査

		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
所得制限 (夫婦合算所得額)		650万円				730万円			
助成内容	助成額	10万円 / 1回 年1回まで			10万円 / 1回 年2回まで		15万円 / 1回 年2回まで		15万円 / 1回 年2回 (初年度3回)、計 10回まで
	助成年限 (通算)	2か年度	3か年度	5か年度					
助成件数 延べ件数 (実人員)	13健康福祉事務所	452 (452)	639 (639)	702 (702)	1,275 (877)	1,541 (1,005)	1,935 (1,251)	2,306 (1,547)	2,516 (1,533)
	神戸市	318 (316)	359 (358)	411 (405)	873 (589)	1,041 (653)	1,135 (747)	1,360 (916)	1,533 (922)
	姫路市	145 (145)	166 (166)	207 (203)	393 (267)	404 (270)	434 (286)	469 (315)	498 (312)
	西宮市	117 (117)	159 (159)	182 (182)	326 (229)	373 (250)	446 (295)	466 (315)	557 (340)
	尼崎市	69 (69)	127 (127)	141 (141)	218 (150)	239 (164)	249 (166)	378 (241)	395 (242)
	兵庫県内合計	1,101 (1,099)	1,450 (1,449)	1,643 (1,633)	3,085 (2,122)	3,598 (2,342)	4,199 (2,750)	4,979 (3,334)	5,499 (3,349)



乳幼児期 (P23、P24)

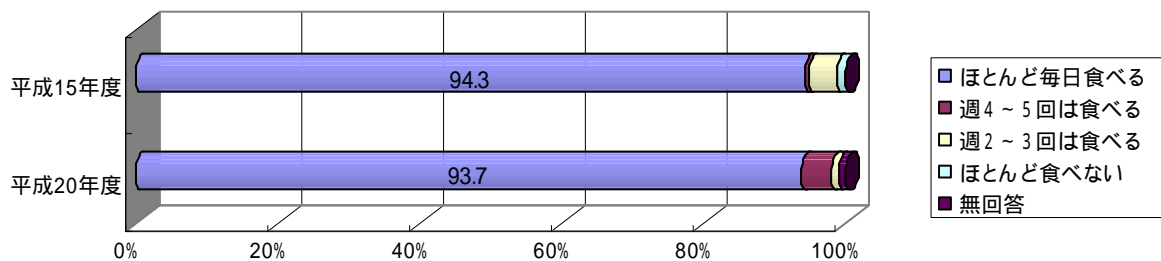
ア 乳幼児集団健診実施状況

表 乳幼児集団健診実施状況 (平成23年度)

	対象 人員(人)	受診実 人員(人)	受診率	受診結果			
				異常なし	%	異常あり	%
乳児健診	48,151	46,738	97.1%	36,406	77.9%	10,332	22.1%
1歳6カ月児健診	48,560	46,773	96.3%	35,781	76.5%	10,992	23.5%
3歳児健診	50,009	47,444	94.9%	36,681	77.3%	10,763	22.7%

イ 朝食を食べる幼児(1~5歳)の状況

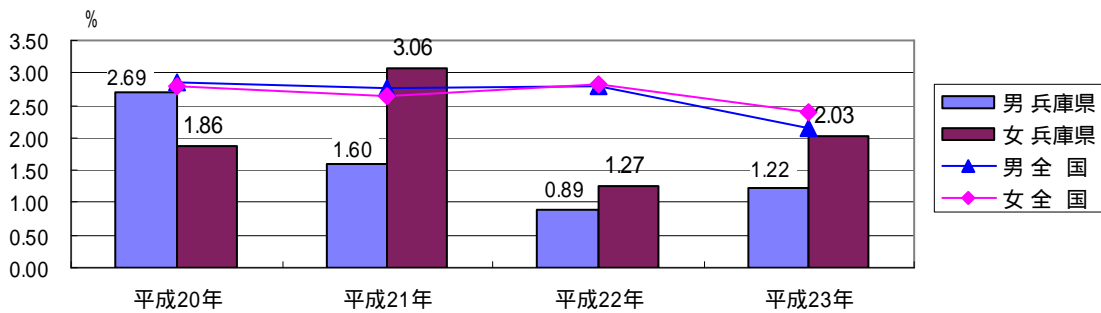
図表 朝食を食べる幼児(1~5歳)の割合の推移



資料: 「ひょうご健康食生活実態調査」

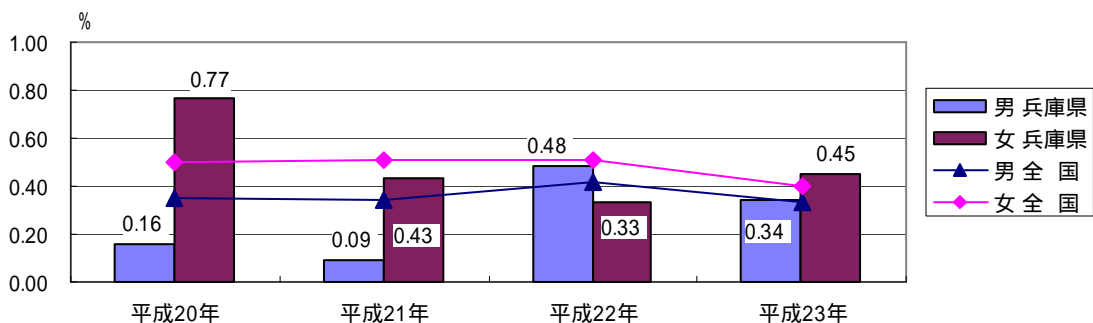
ウ 肥満・痩身傾向児の出現状況

図表 肥満傾向児(幼稚園[5歳児])の出現率



(注) 肥満傾向児とは性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者

図表 痩身傾向児(幼稚園[5歳児])の出現率

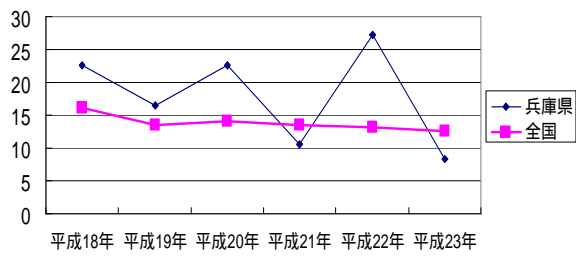


(注) 痩身傾向児とは性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者

資料: 「学校保健統計」

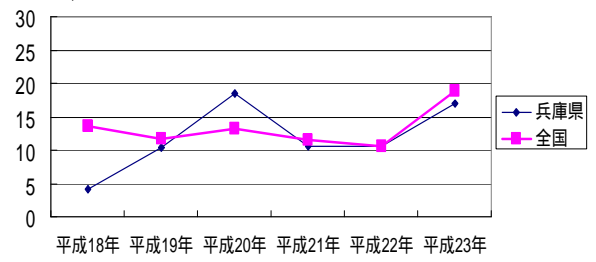
エ 乳幼児の死亡状況

(出生10万対) 図表 乳児死亡率(突然死症候群死亡率)



資料：「人口動態調査」

(出生10万対) 図表 乳児死亡率(不慮の事故)

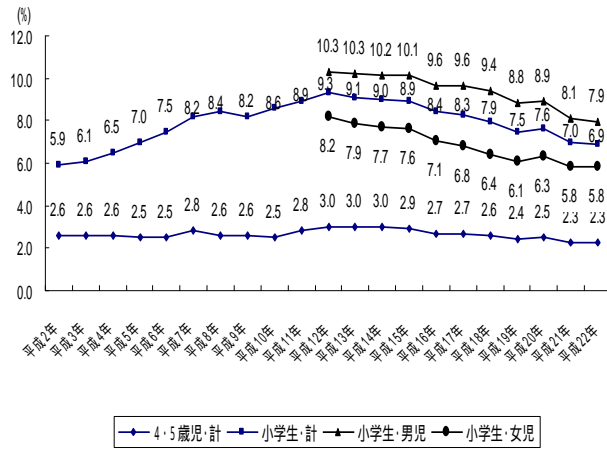


資料：「人口動態調査」

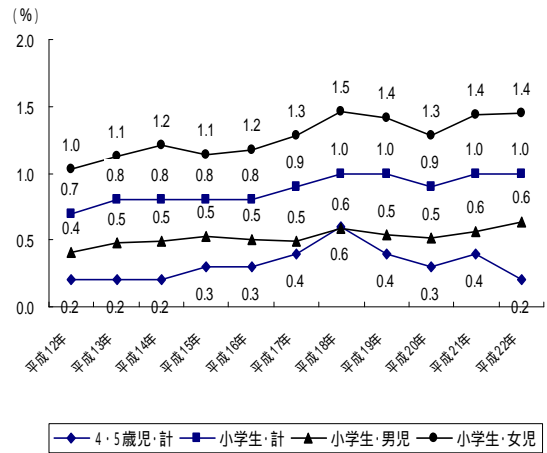
学齡期 (P29、P30)

ア 肥満・やせの状況

図表 幼児・小学生における肥満状況の経年変化(肥満度+20%以上)



図表 幼児・小学生におけるやせ状況の経年変化(肥満度-20%未満)



資料：「幼児・学童における身体状況調査」

イ 思春期女子の瘦身傾向

図表 思春期女子の瘦身傾向(%)

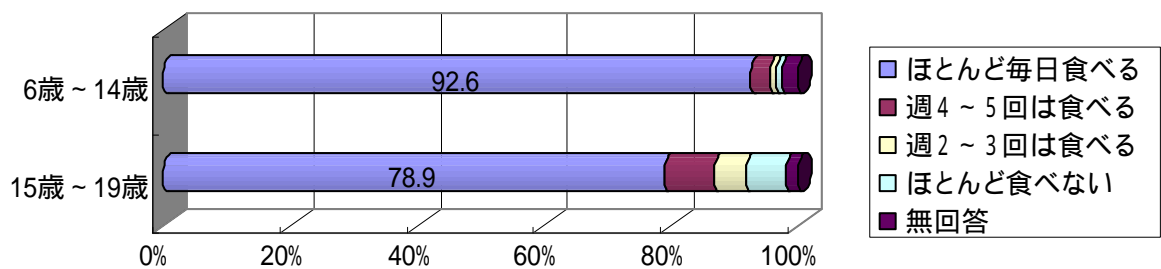
区分	中学校			高等学校		
	12	13	14	15	16	17
全国	4.32	3.91	2.61	2.65	2.22	1.89
兵庫県	5.72	4.64	2.36	3.12	2.07	3.05

資料：「平成23年度学校保健統計調査」

(注) 瘦身傾向児とは性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

ウ 学齡期における朝食の摂取状況

学齡期における朝食の摂取状況(6歳~19歳)



資料：「平成20年度ひょうご健康食生活実態調査」

エ 飲酒・喫煙の状況

表 思春期の喫煙、飲酒状況 (%)

項目	対象		兵庫県
	性別	学年	
喫煙	男性	中学1年	0.7
	男性	高校3年	1.7
	女性	中学1年	0.0
	女性	高校3年	1.9
飲酒	男性	中学3年	6.2
	男性	高校3年	21.0
	女性	中学3年	4.9
	女性	高校3年	19.8

資料:「平成23年度兵庫県健康づくり実態調査」

オ 薬物乱用防止教室開催状況

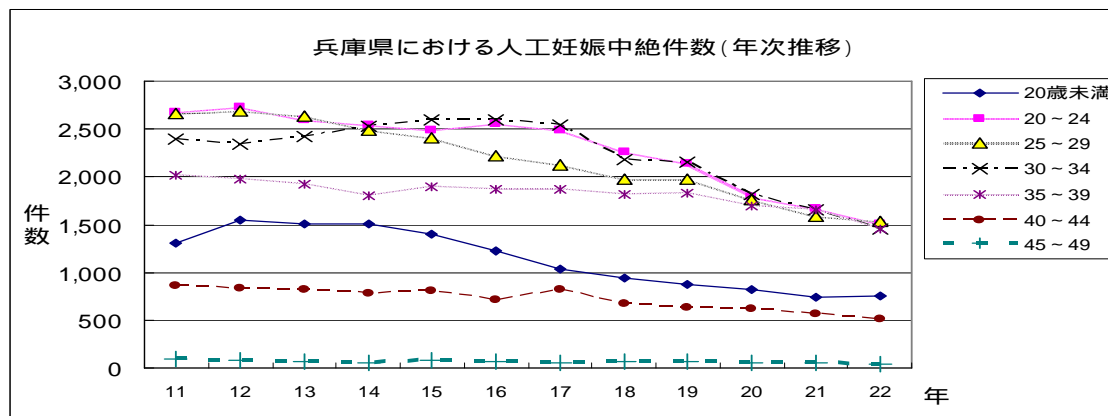
表 兵庫県内における薬物乱用防止教室開催状況(平成17,18年度は神戸市除く)

学校種	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	開催校数	開催率	開催校数	開催率	開催校数	開催率	開催校数	開催率	開催校数	開催率
小学校	66	10.0%	69	10.5%	113	13.7%	115	14.0%	289	35.5%
中学校	75	24.5%	82	26.8%	134	34.4%	157	40.4%	237	61.6%
高等学校	74	38.7%	70	36.6%	81	40.7%	66	33.2%	89	44.7%
中等教育学校	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
合計	215	18.6%	222	19.2%	329	23.3%	338	24.0%	616	44.0%

資料:「県教育委員会、神戸市教育委員会、兵庫県調」

カ 10歳代の人工妊娠中絶

図表 人工妊娠中絶の推移



キ 10歳代の性感染症の罹患

図表 性感染症の罹患率

成人期

〔主要な生活習慣病等の発症予防と重症化予防〕(P35、P36)

ア 特定健診等の実施率の推移(P2)

表 特定健診等の実施率の推移

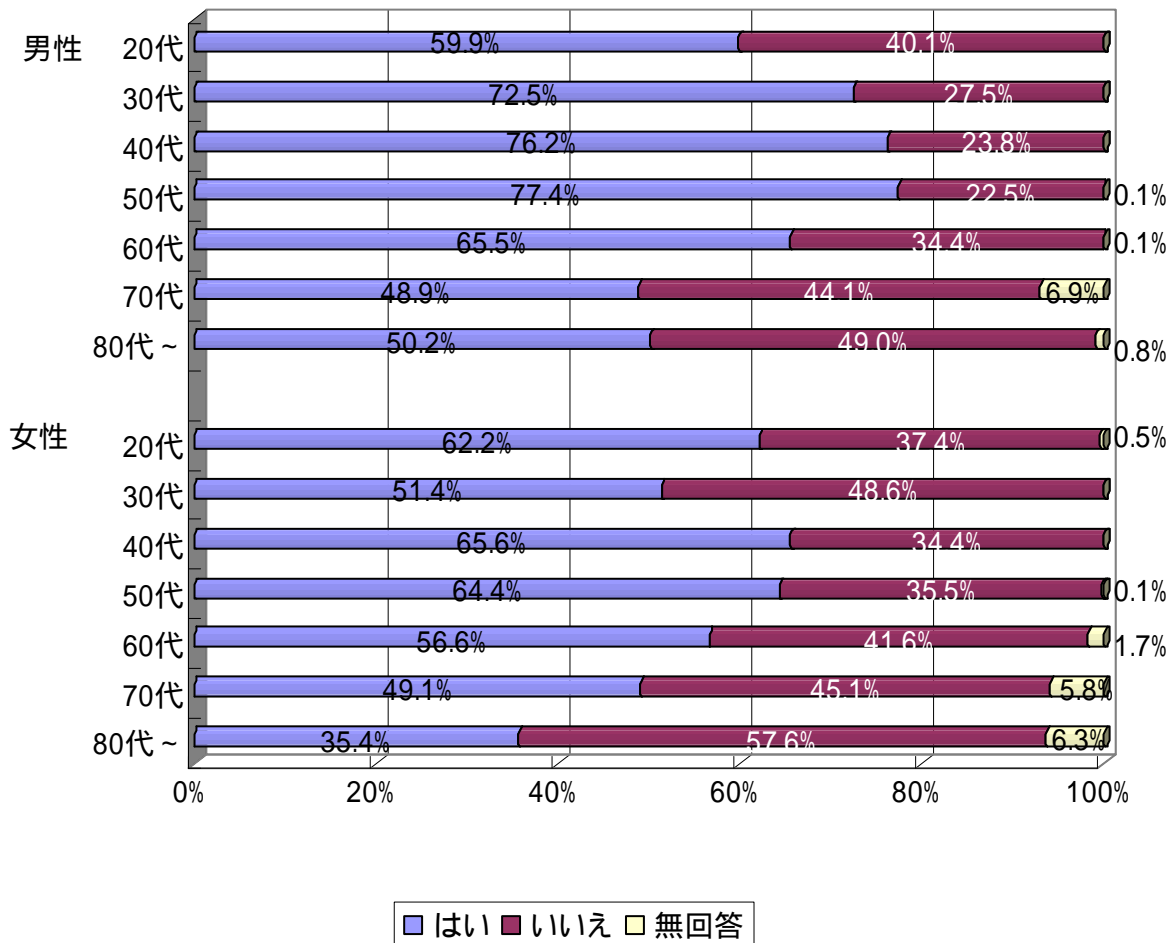
区 分	特定健診受診率				特定保健指導実施率			
	20年度	21年度	22年度	23年度	20年度	21年度	22年度	23年度
市町国保	30.4	29.7	30.2	31.0	15.5	18.8	17.6	22.7
市町国保以外	38.8	47.9	49.7	52.2	5.5	19.4	20.0	15.7
県全体	35.3	40.9	42.1	43.6	8.4	19.3	19.5	17.2

注1) 国保(市町国保、国保組合)の22,23年度は法定報告概数値、21年度は法定報告確定値
国保以外の21~23年はアンケート調査に基づく推計値

注2) 20年度は厚生労働省調査数値

イ 健診(健康診断や健康診査)や人間ドックの受診状況

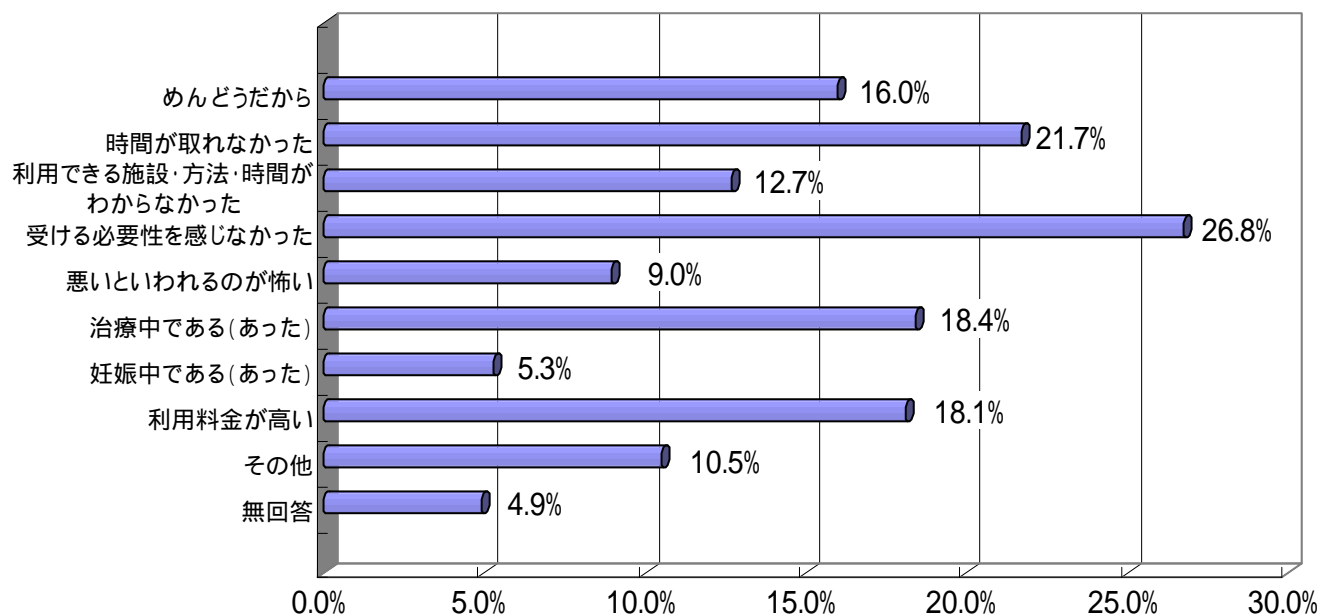
図表 健診、人間ドックの受診状況



資料: 「平成23年度兵庫県健康づくり実態調査」

ウ 健診や人間ドックを受けなかった理由

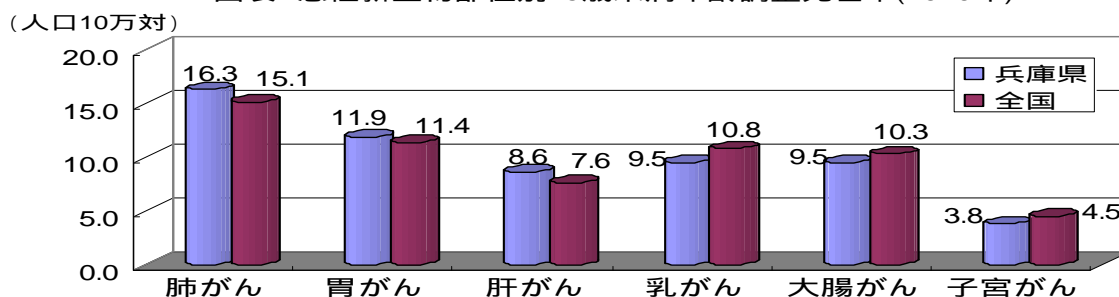
図表 健診や人間ドックを受けなかった理由



資料：「平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査」

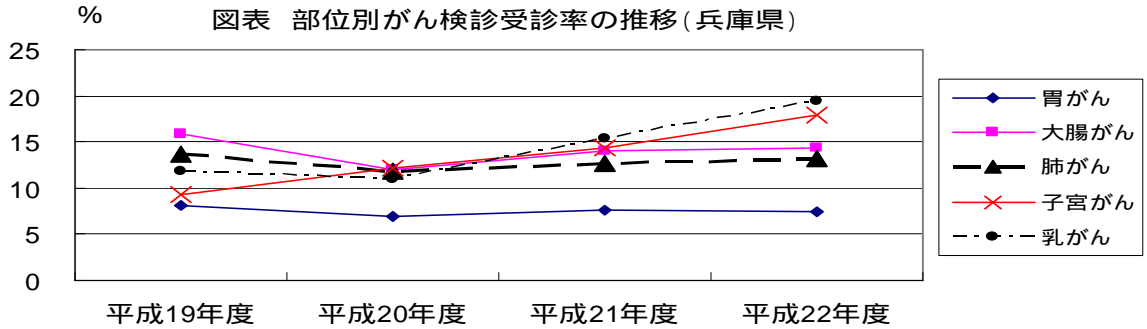
エ 悪性新生物部位別死亡率（75 歳未満年齢調整死亡率）

図表 悪性新生物部位別75歳未満年齢調整死亡率(2010年)



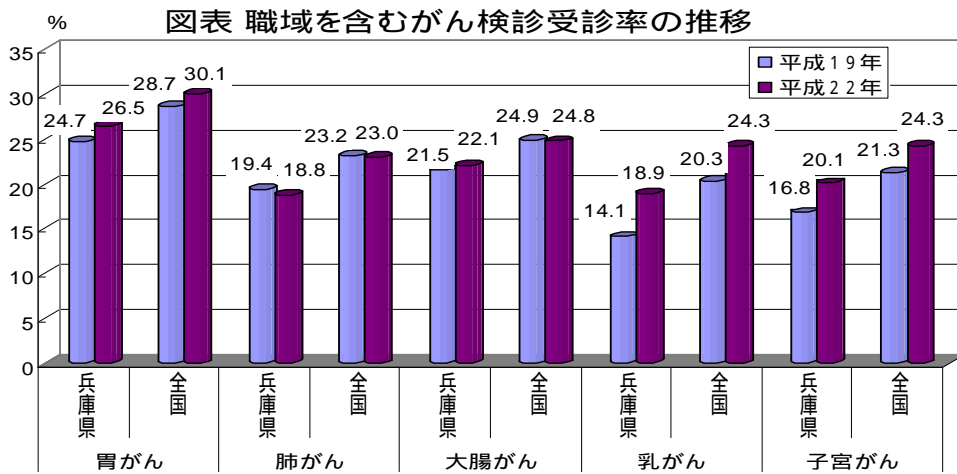
資料：独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター「部位別 75 歳未満年齢調整死亡率」

オ ガン検診受診の状況



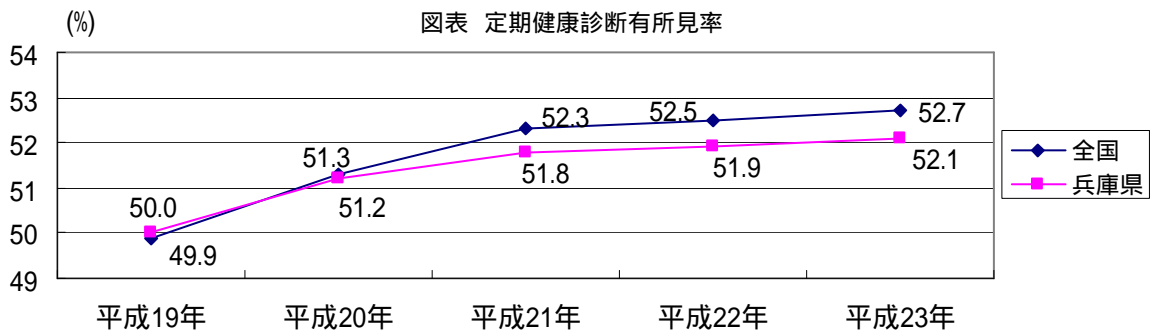
対象者は平成21年3月18日付け厚生労働省通知「市町村がん検診事業の充実強化について」の算定方式による

乳がん検診は「マンモグラフィによる検診」を含む受診者数



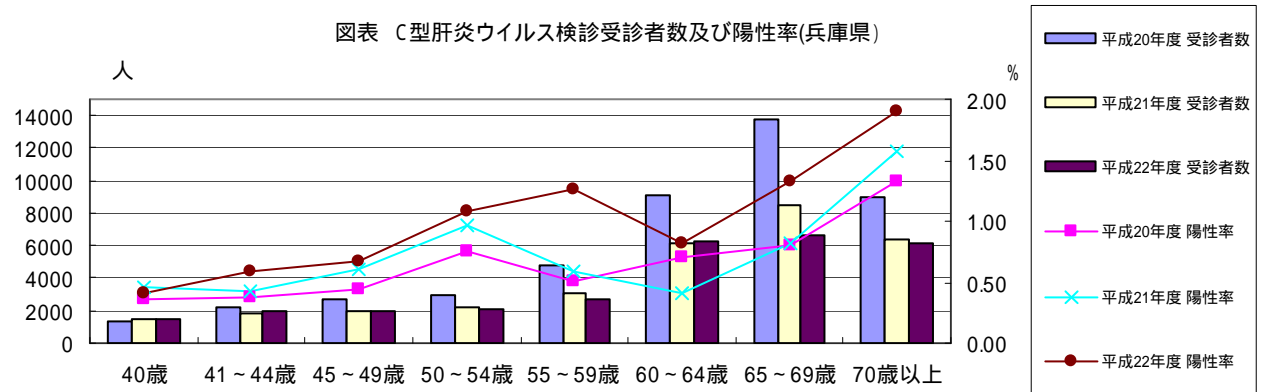
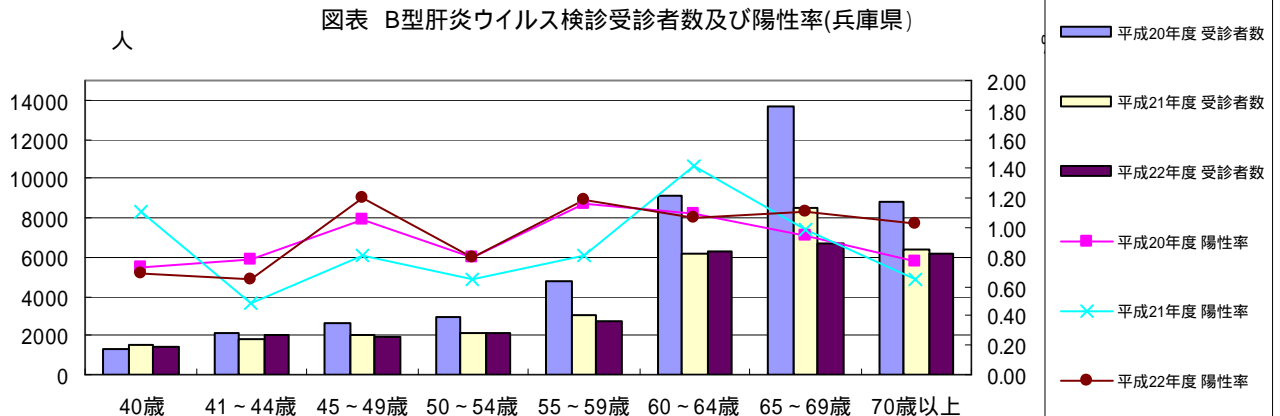
職域を含む実施分は「平成19年及び平成22年国民生活基礎調査」

カ 定期健康診断有所見率の推移



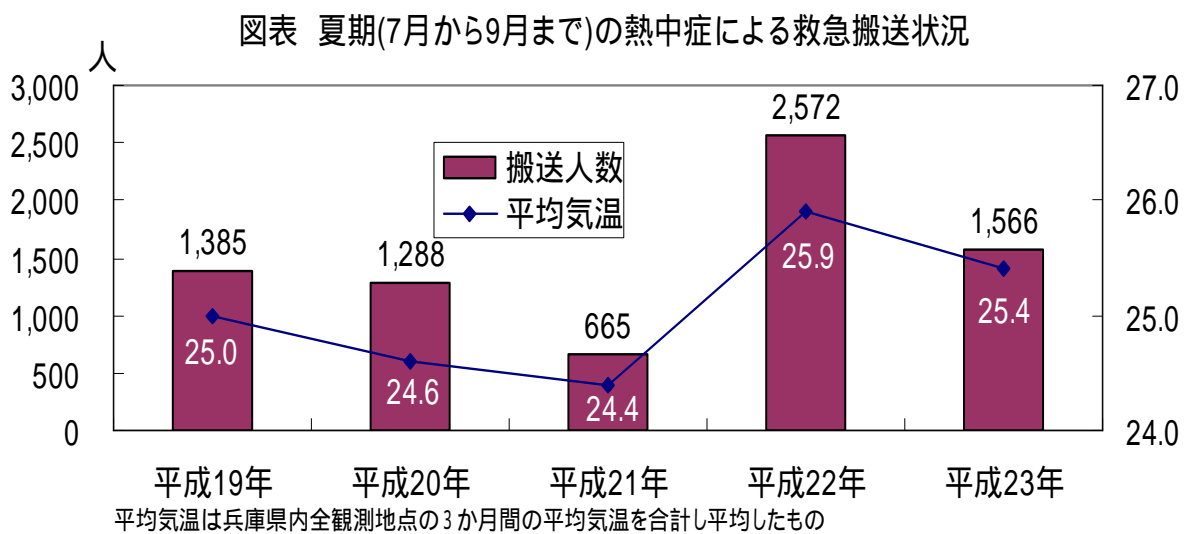
資料：「定期健康診断結果報告」

キ 肝炎ウイルス検診の受診状況



資料：「地域保健・健康増進事業報告」

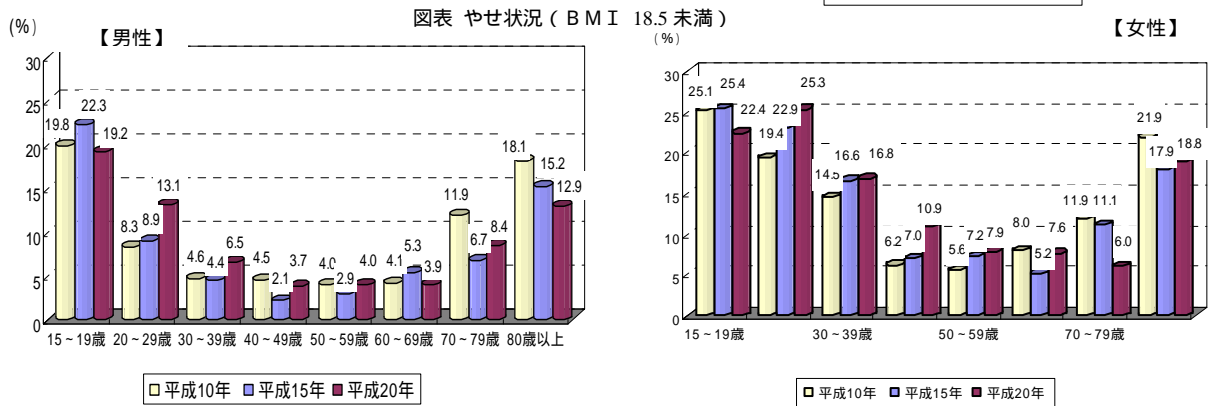
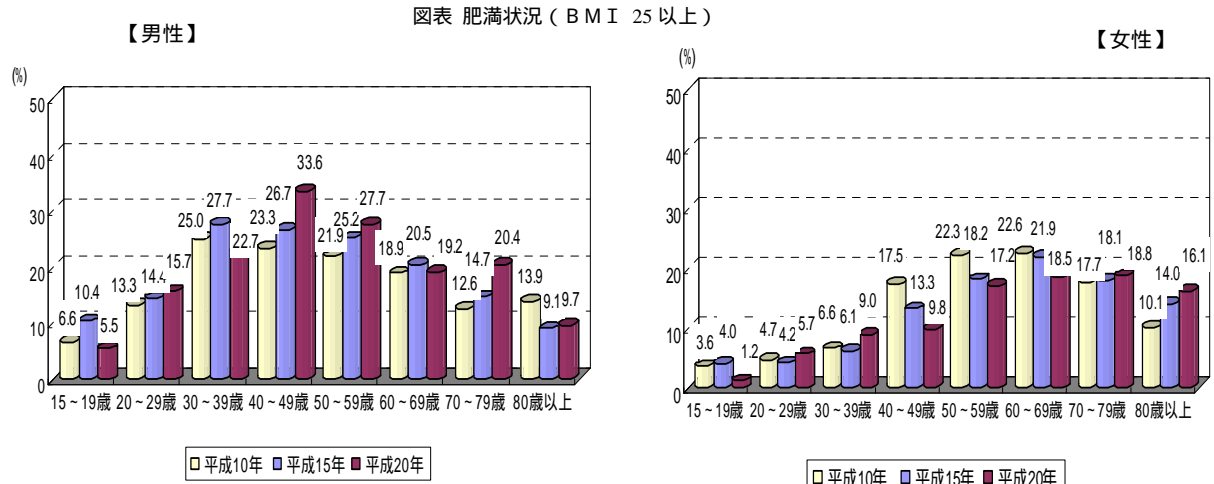
ク 熱中症による救急搬送の状況



資料：総務省消防庁「夏期(7~9月)の熱中症による救急搬送状況(兵庫県)」
国土交通省気象庁「気象統計情報」

〔栄養・食生活〕(P36、P37)

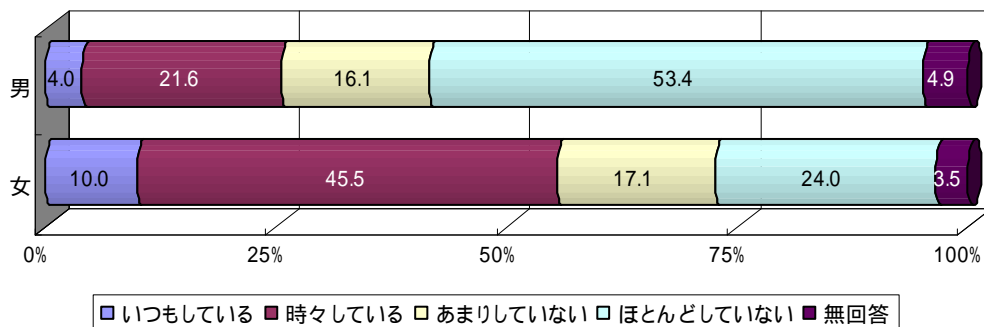
ケ 肥満者の状況



資料：「ひょうご健康食生活実態調査」

コ 栄養成分表示の利用状況

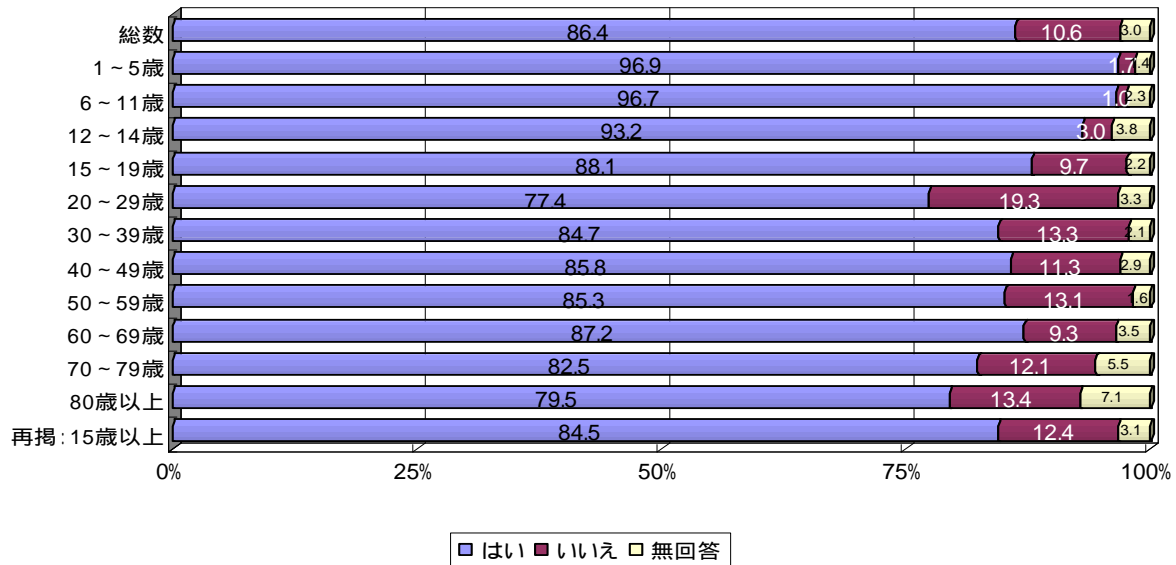
図表 栄養成分表示の参考状況 (全県・15歳以上・性別)



資料：「平成20年度ひょうご健康食生活実態調査」

サ 食を楽しむ状況

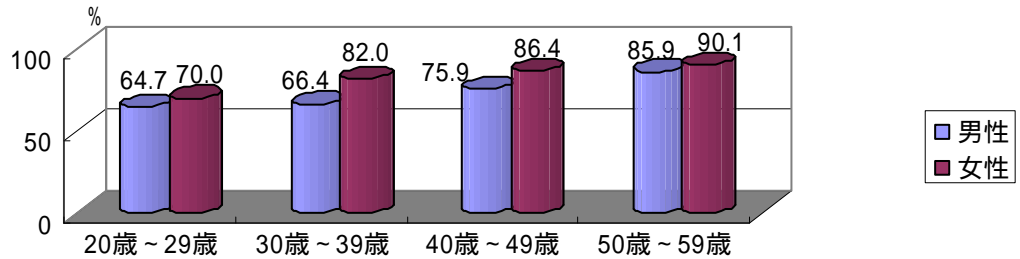
図表 1日1食以上、楽しく2人以上で食事をする人の割合(全県・年代別・総数)



資料：「平成20年度ひょうご健康食生活実態調査」

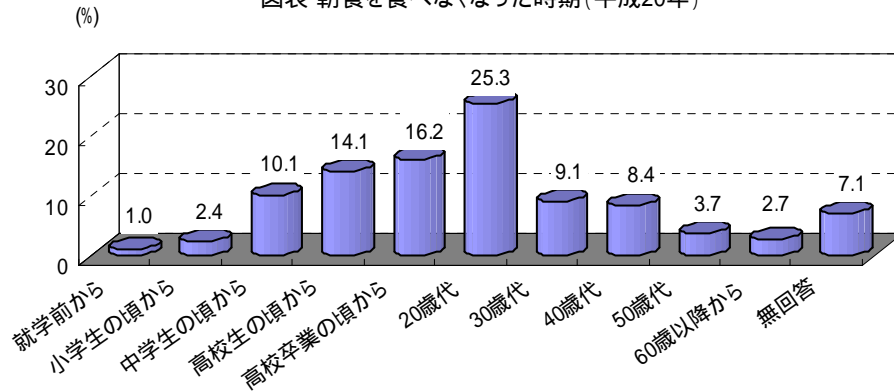
シ 朝食の摂取状況

朝食をほとんど毎日食べる人(性別・年代別)



資料：「平成20年度ひょうご健康食生活実態調査」

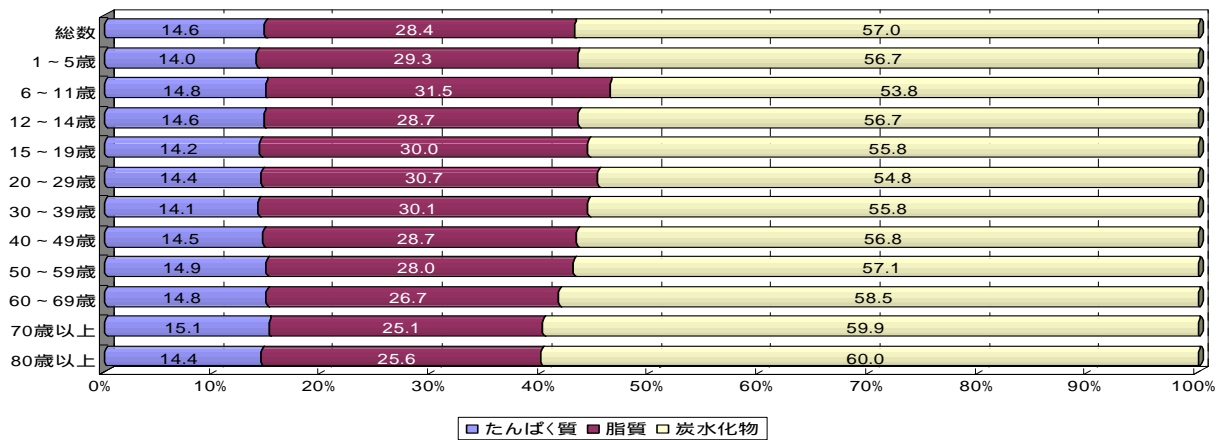
図表 朝食を食べなくなった時期(平成20年)



資料：「平成20年度ひょうご健康食生活実態調査」

ス 脂肪エネルギーの摂取状況

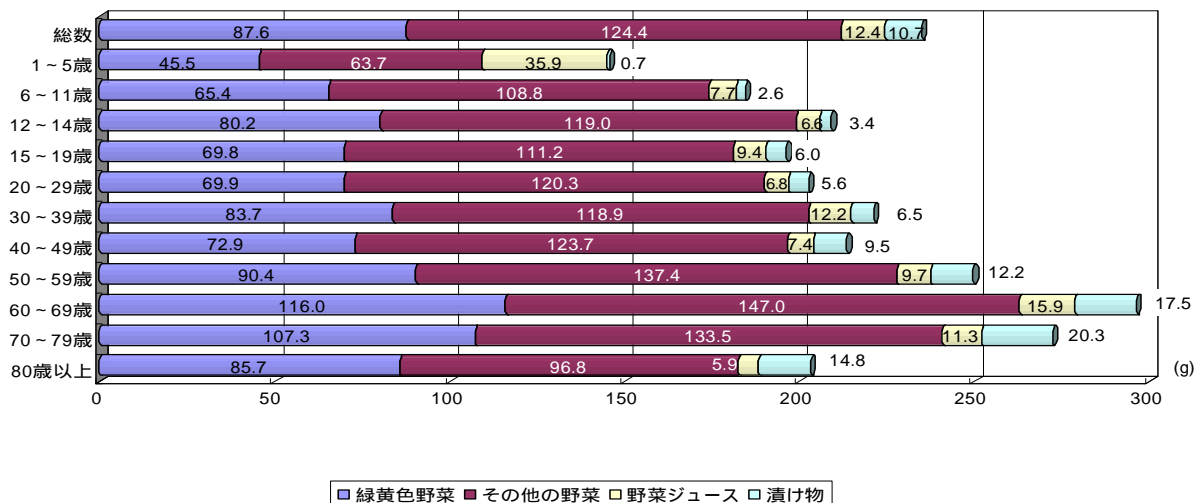
図表 エネルギーの栄養素別摂取構成比(全県・年代別・総数)



資料：「平成20年度ひょうご健康食生活実態調査」

セ 野菜の摂取状況

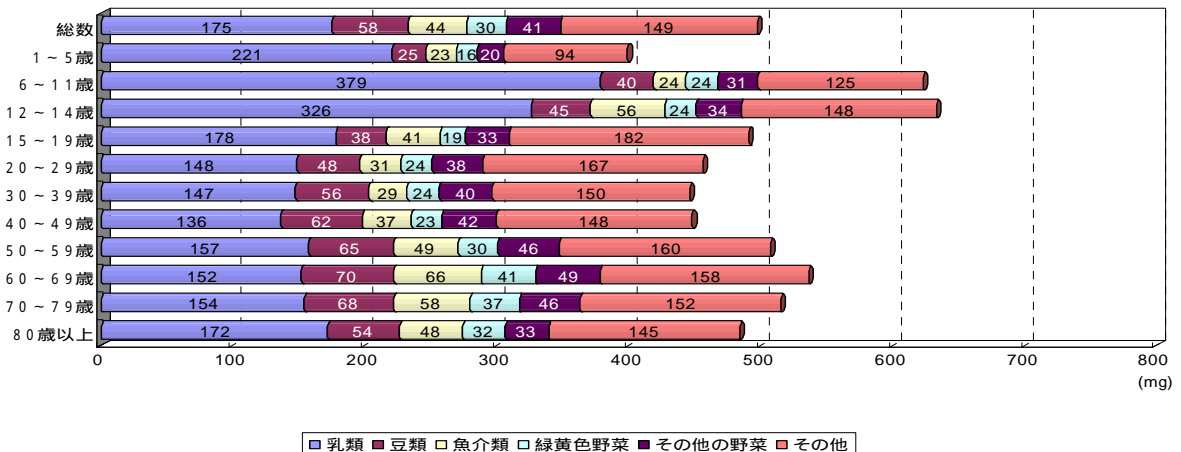
図表 野菜類の食品群別平均摂取量(全県・総数)



資料：「平成20年度ひょうご健康食生活実態調査」

ソ カルシウムの摂取状況

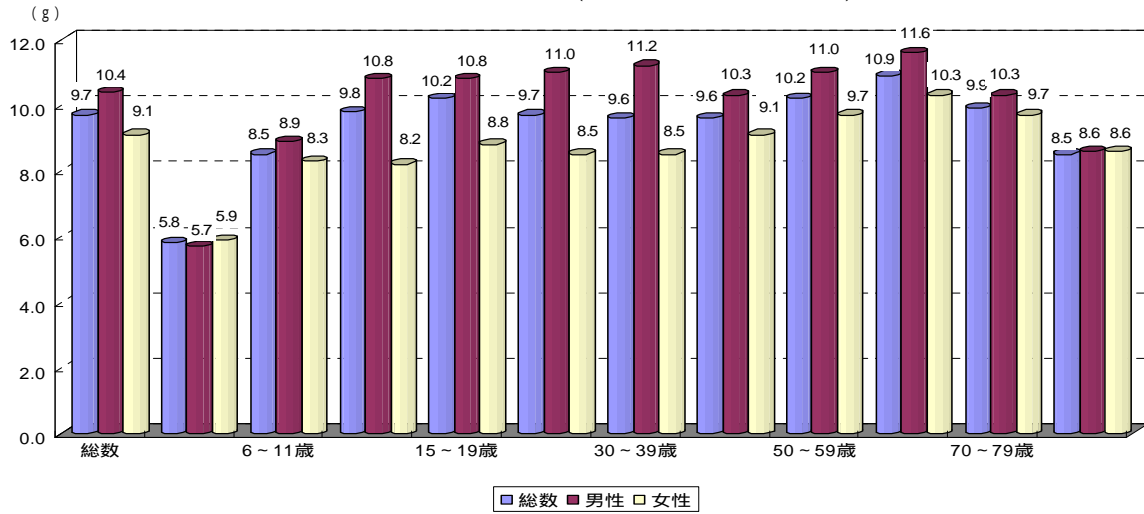
図表 カルシウムの食品群別摂取構成(全県・総数)



資料：「平成20年度ひょうご健康食生活実態調査」

タ 食塩の摂取状況

図表 食塩摂取量の平均値(全県・15歳以上・年代別)



資料：「平成20年度ひょうご健康食生活実態調査」

〔喫煙〕(P37)

チ 喫煙率の推移

(単位：%)

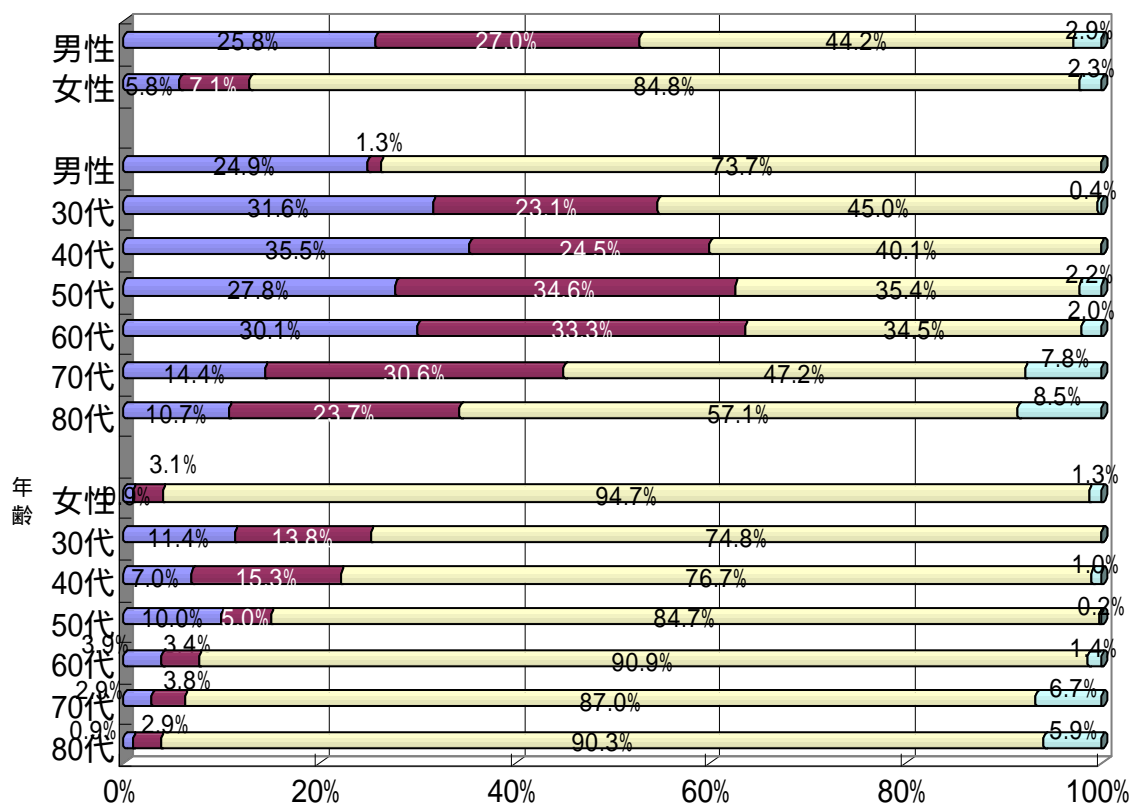
区分		平成11年	平成16年	平成18年	平成22年	平成23年
兵庫県	男性	48.9	36.5	31.7	-	25.8
	女性	11.5	8.5	8.0	-	5.8
	計	28.6	21.0	18.9	-	14.4
全国	男性	49.2	43.3	39.9	32.2	-
	女性	10.3	12.0	10.0	8.4	-
	計	26.2	26.4	23.8	19.5	-

* 本県データは、平成11年及び平成16年は「県民の健康づくり調査」、平成18年は「県民意識調査」、平成23年は「健康づくり実態調査」

全国データは、「国民健康・栄養調査」(厚生労働省)

ツ 性年代別の喫煙の状況

図表 習慣的喫煙者の状況

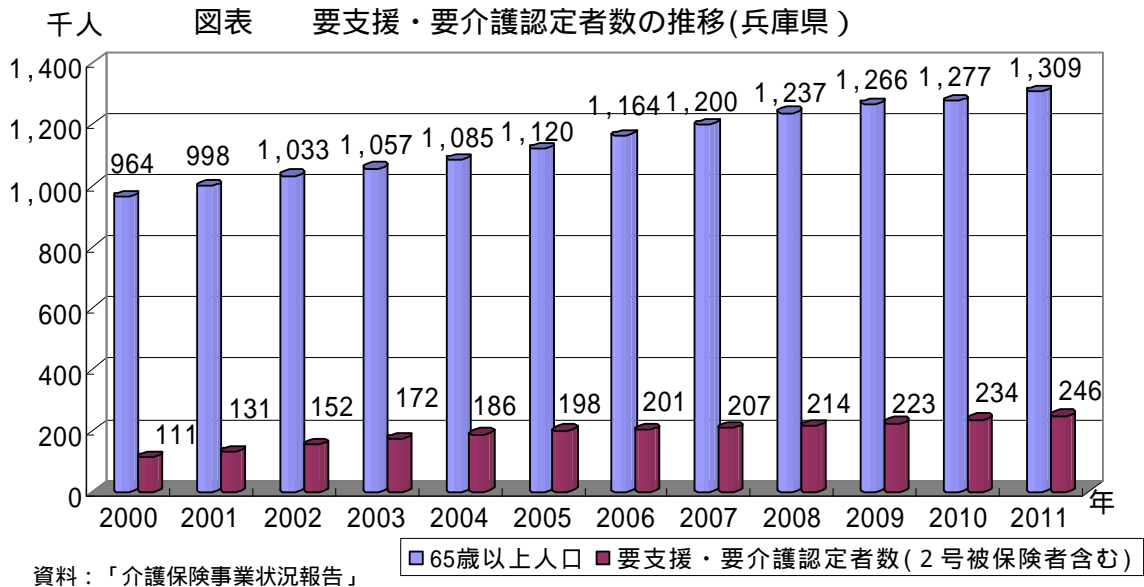


- 1 現在習慣的に喫煙している者：
これまでに「合計100本以上、または6か月以上吸っている(吸っていた)」人で、現在(この1か月間)「毎日吸う」、「ときどき吸う」人
- 2 過去習慣的に喫煙していた者：
これまでに「合計100本以上、または6か月以上吸っている(吸っていた)」人で、現在(この1か月間)は「吸っていない」人
- 3 喫煙しない者：
これまでに「吸ったことはあるが、合計100本未満で、6か月未満である」人、または、「まったく吸ったことがない」人
- 4 無回答

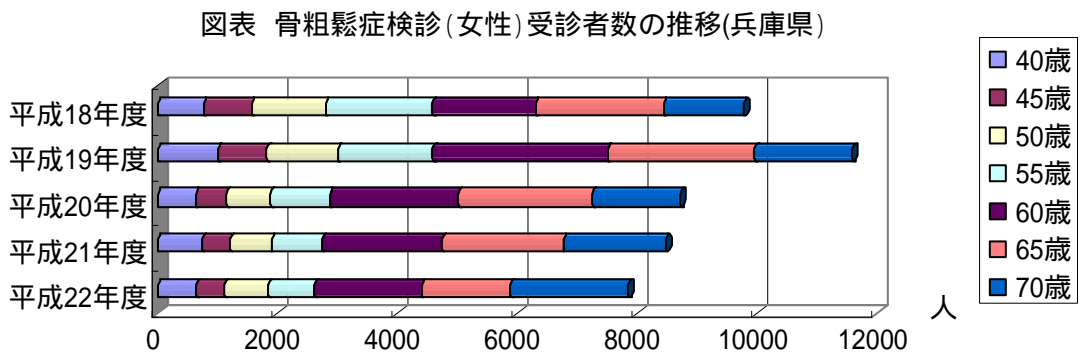
資料：「平成23年度兵庫健康づくり実態調査」

高齢期 (P48)

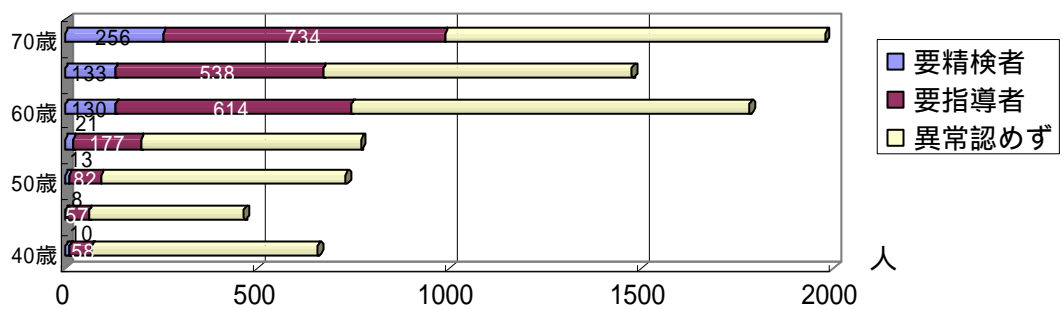
ア 要支援・要介護認定者数の推移



イ 骨粗鬆症検診(女性)の受診状況



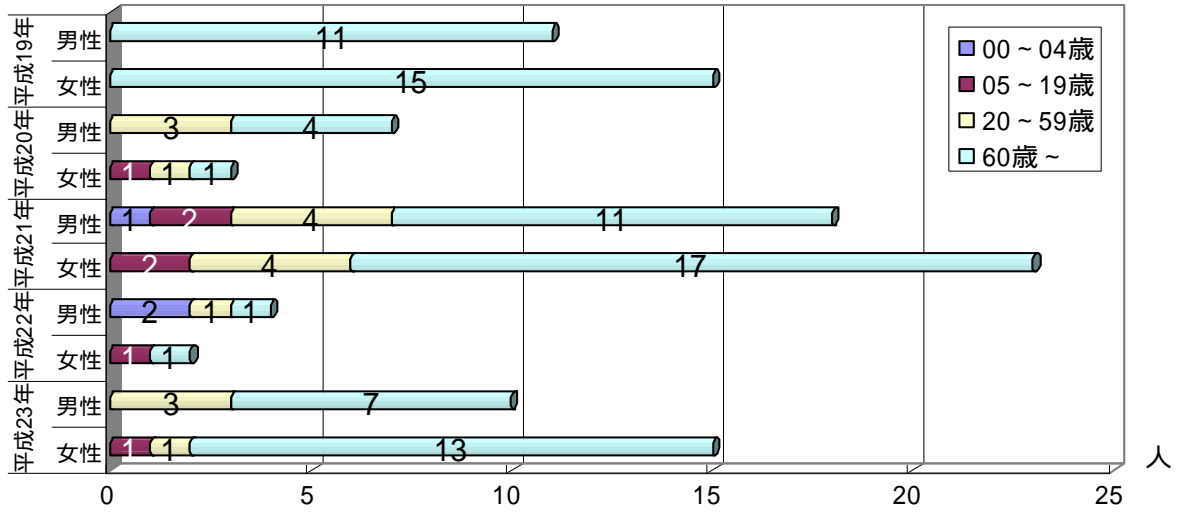
図表 平成22年度骨粗鬆症検診(女性)受診者の状況(兵庫県)



資料：「地域保健・健康増進事業報告」

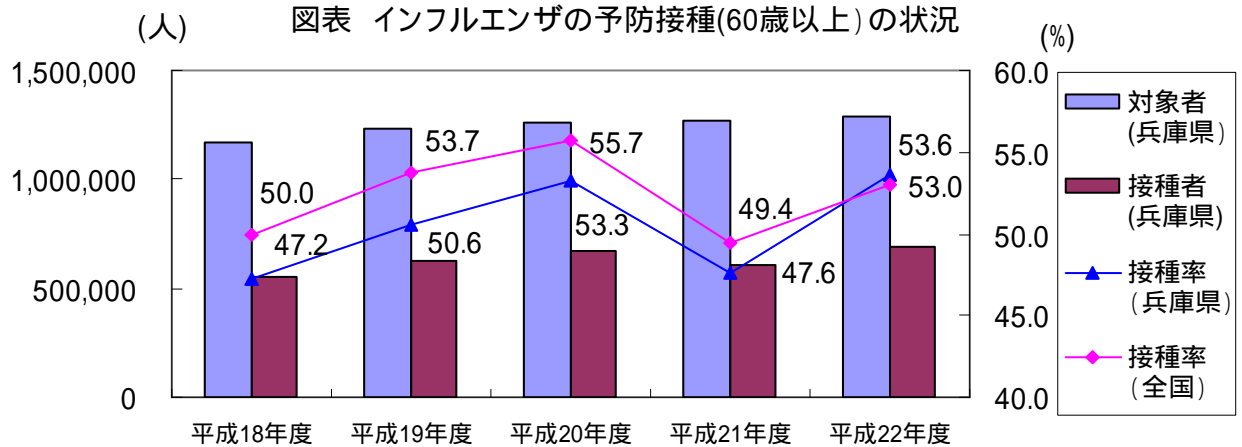
ウ インフルエンザによる死亡者数の状況

図表 インフルエンザによる死亡者数



資料:「人口動態調査 兵庫県値」

エ インフルエンザの予防接種の状況



資料:「地域保健・健康増進事業報告(地域保健・老人保健事業報告)」

2 歯及び口腔^{くわう}の健康づくり

妊産婦期 (P51)

妊娠届出数、妊産婦に対する歯科保健対策事業実施市町数

表 圏域別妊娠届出数

	全県	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
人数(人)	51,006	14,106	10,380	6,434	6,708	2,258	5,571	2,190	1,411	919	1,029
構成比(%)	100.0%	27.7%	20.4%	12.6%	13.1%	4.4%	10.9%	4.3%	2.8%	1.8%	2.0%

(厚生労働省「平成22年度地域保健・健康増進事業報告」)

表 妊産婦に対する歯科保健対策事業実施市町数

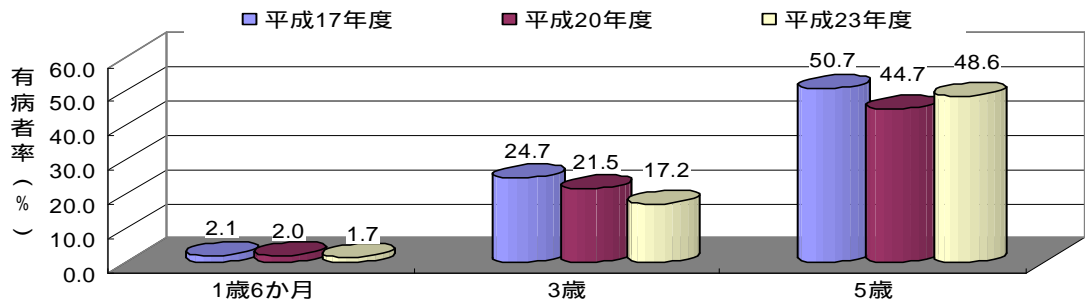
	歯科健診			歯科相談・指導等	歯科健診・相談・指導等を実施(再掲)
	個別	集団	計		
H22	3	7	10	15	25
H23	6	9	15	22	32

(兵庫県健康増進課「平成23年度市町歯科保健対策事業実施状況調査」)

乳幼児期 (P54)

幼児期におけるう蝕有病者の状況

図表 幼児期におけるう蝕有病者率(全県)

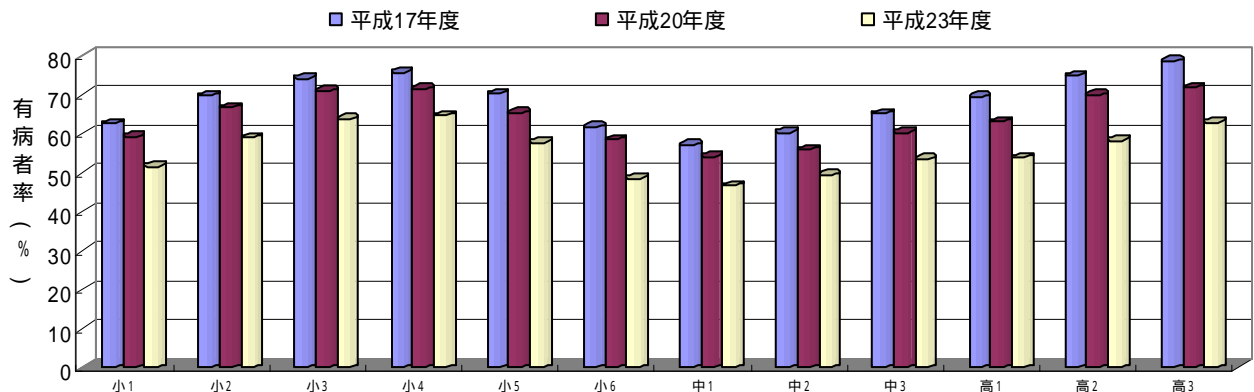


資料：「保育所、幼稚園及び学校における歯科健診結果調査」

学齢期 (P58)

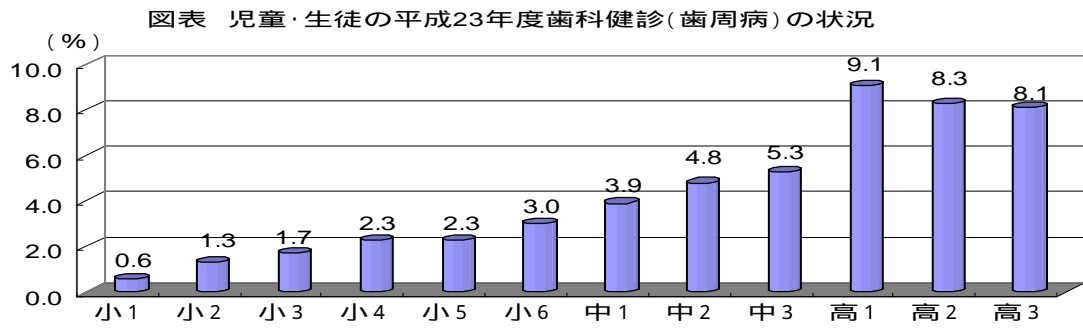
ア 学齢期におけるう蝕有病者の状況

図表 学齢期におけるう蝕有病者率(全県)



資料：「保育所、幼稚園及び学校における歯科健診結果調査」

イ 児童・生徒の歯周病の状況

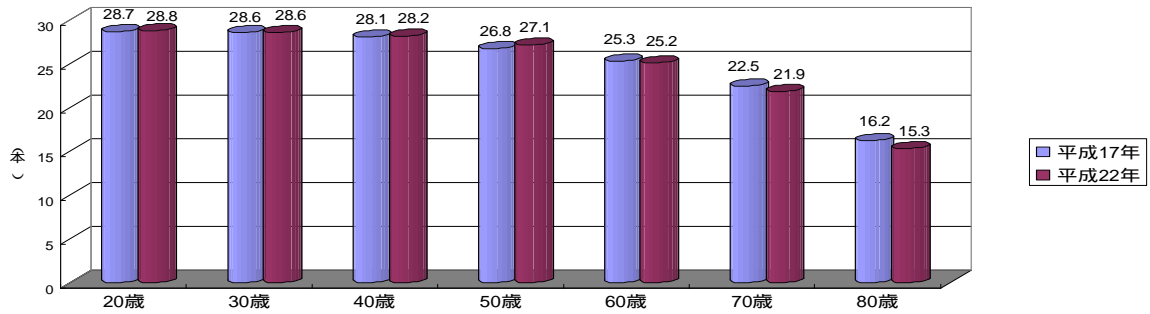


資料：「学校等における平成23年度歯科健診結果調べ」

成人期 (P62、P63)

ア 一人当たり現在歯数

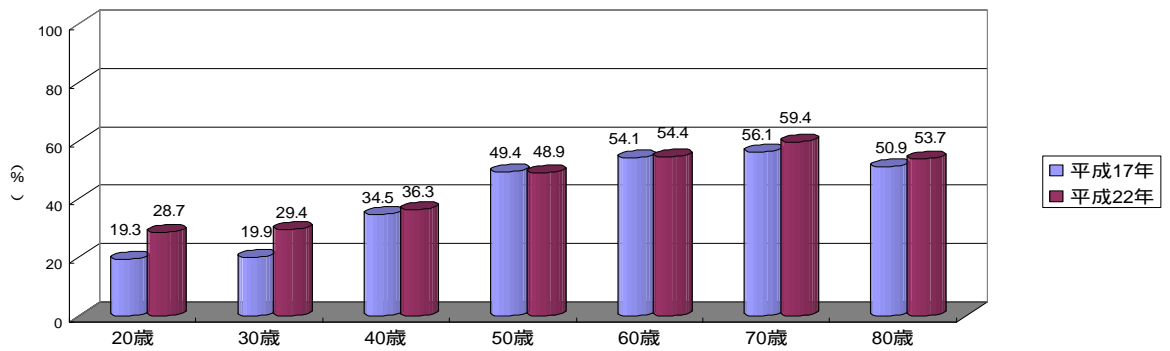
図表 一人当たり現在歯数 (全県)



資料：「兵庫県歯周疾患等検診結果調査」

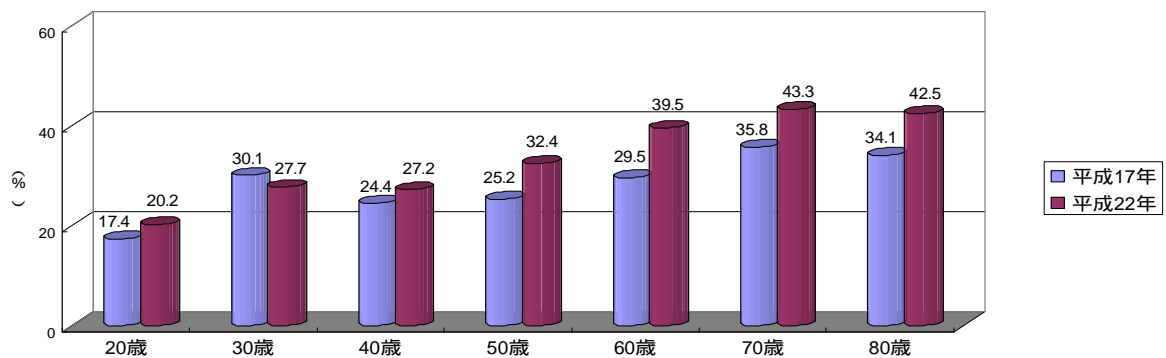
イ 成人期の歯周病

図表 進行した歯周疾患を有する人の割合 (全県)



資料：「兵庫県歯周疾患等検診結果調査」

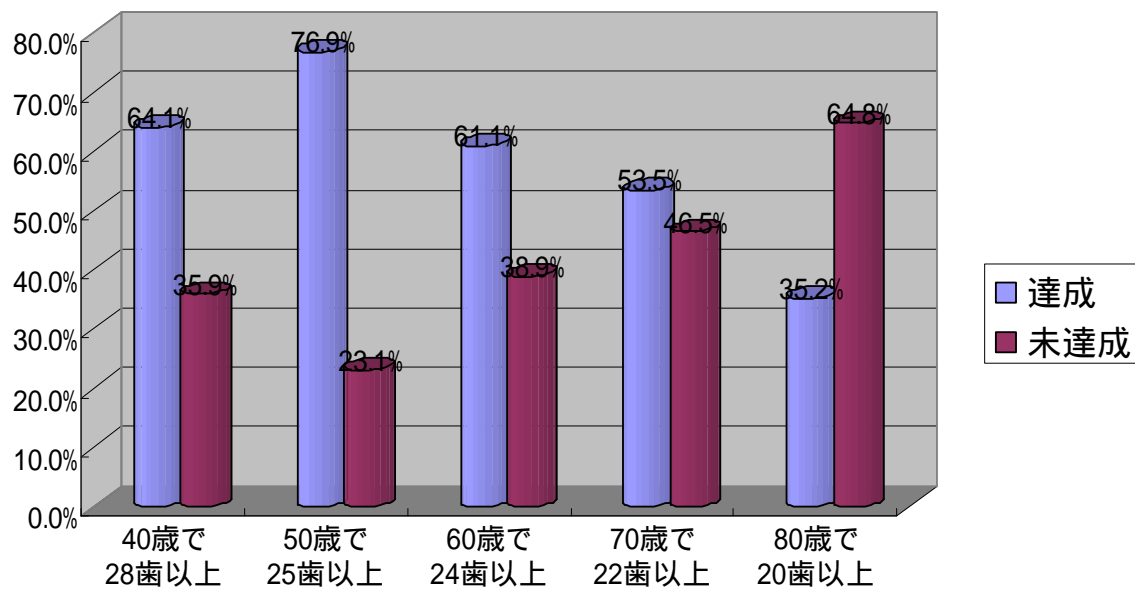
図表 定期的に歯科健診を受診している人の割合 (全県)



資料：「兵庫県歯周疾患等検診結果調査」

ウ 8020運動の目標値を達成している人の割合

図表 8020運動の目標値を達成している人の割合(全県)

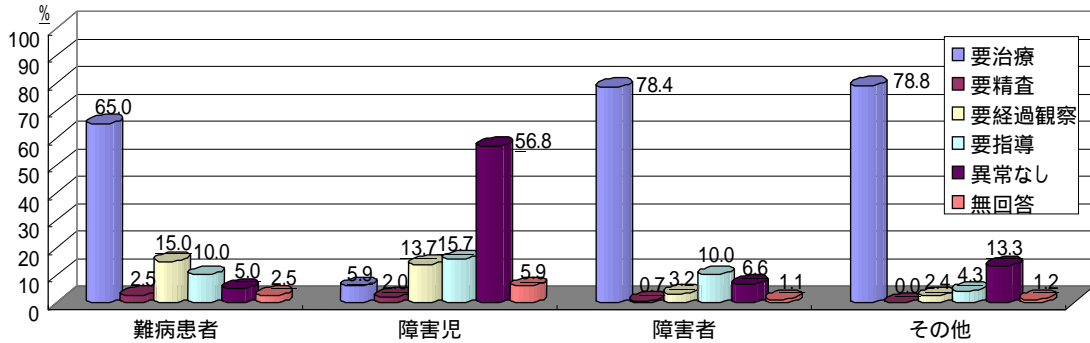


資料：「平成23年度兵庫健康づくり実態調査」

特に配慮を要する方 (P71 ~ P73)

ア 専門的歯科保健対策事業(平成 22 年度実績)

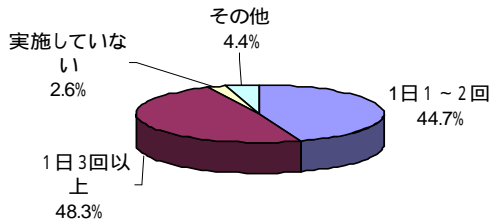
図表 歯科医師所見



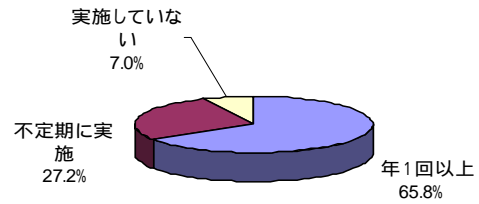
資料：「専門的歯科保健対策事業実績報告」

イ 障害児(者)入所施設における歯科保健の取組

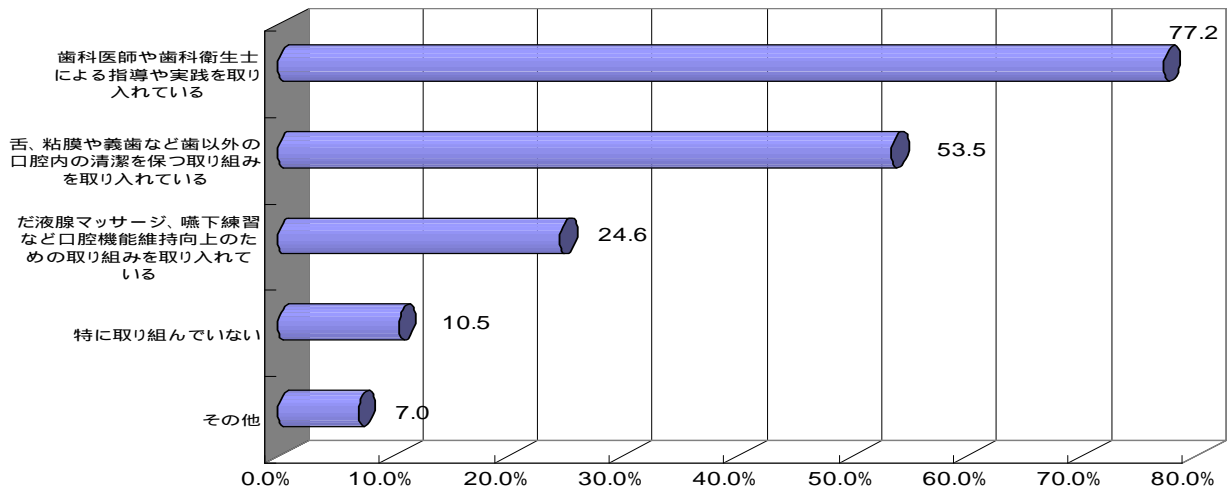
図表 障害児(者)入所施設における口腔ケア実施状況



図表 障害児(者)入所施設における歯科健診実施状況



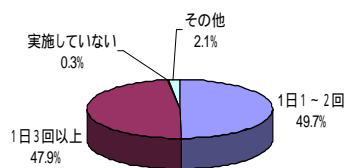
図表 障害者入所施設における口腔ケア・口腔機能向上の取り組み(複数回答)



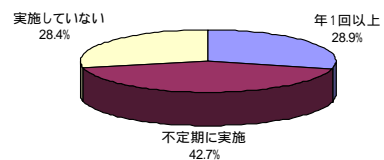
資料：「障害児(者)入所施設における歯科保健の取り組みについて」実態調査

ウ 介護老人福祉施設及び介護老人保健施設における歯科保健の取組

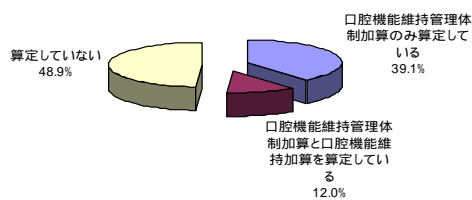
図表 介護老人福祉施設及び介護老人保健施設における口腔ケア実施状況



図表 介護老人福祉施設及び介護老人保健施設における歯科健診実施状況



図表 介護老人福祉施設及び介護老人保健施設における介護保険加算状況

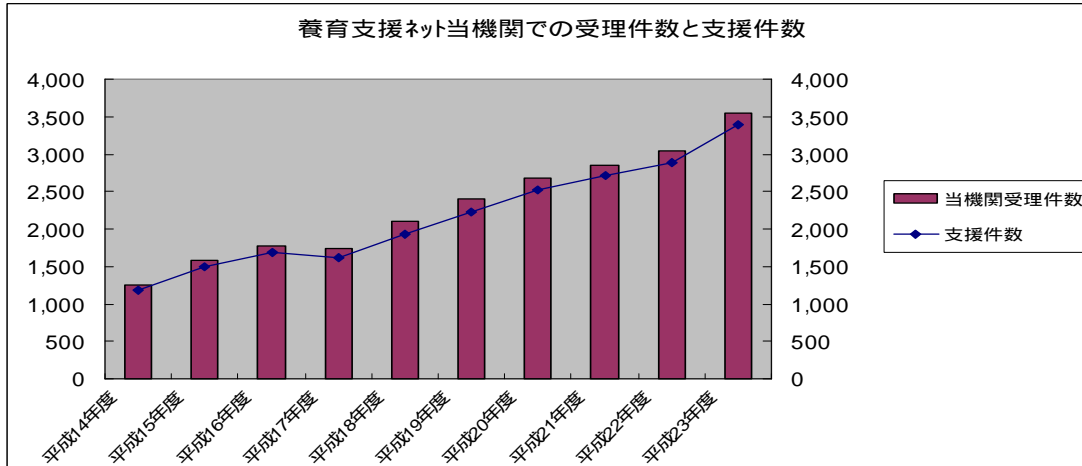


資料：「介護老人福祉施設及び介護老人保健施設における歯科保健の取り組みについて」実態調査

3 こころの健康づくり

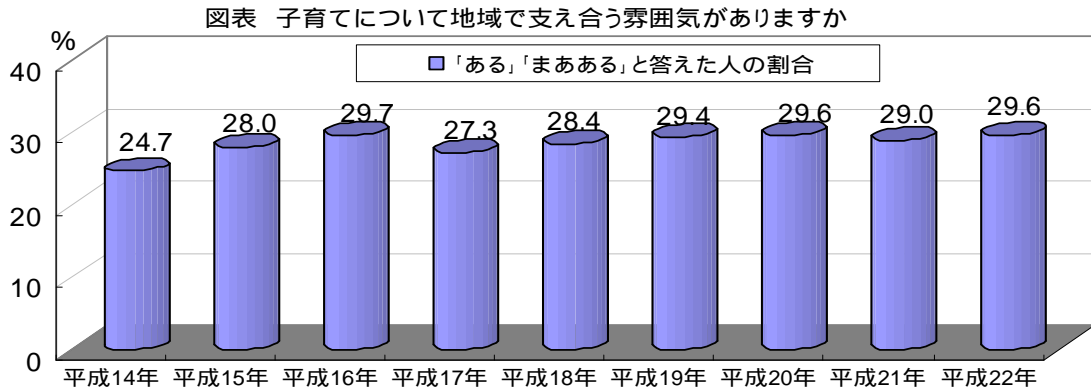
妊産婦期 (P77)

養育支援ネットの受案件数と支援件数



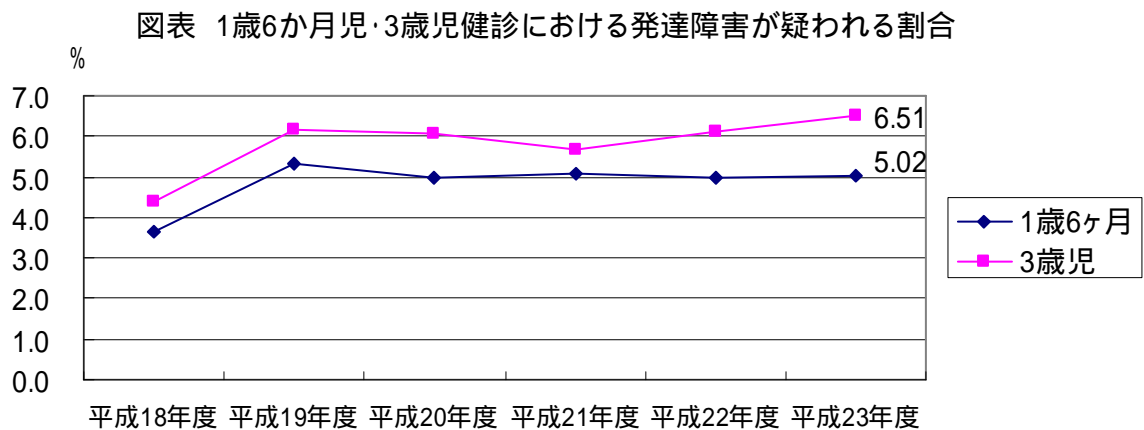
乳幼児期 (P80)

ア 子育てに対する地域の支援



資料：「美しい兵庫指標 県民意識調査」

イ 乳幼児健診における発達障害が疑われる幼児の割合

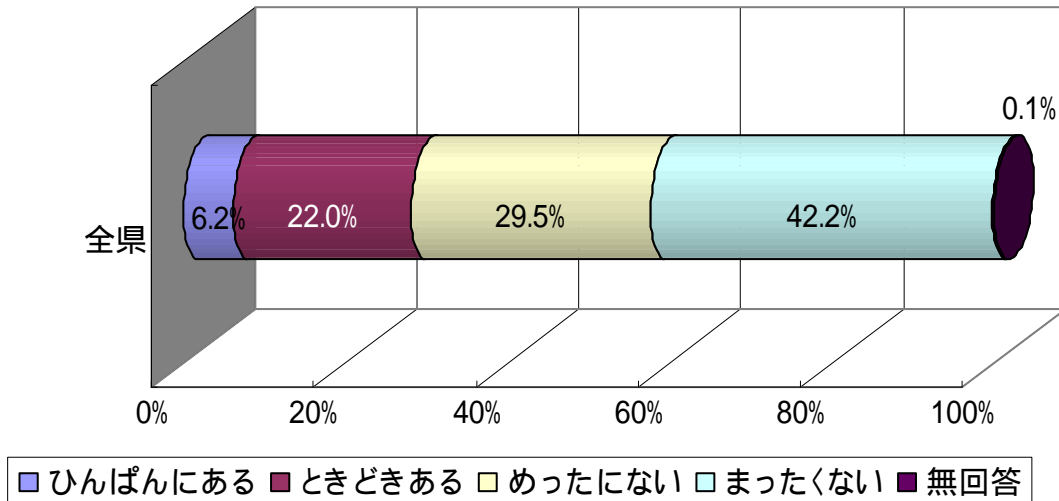


政令市を除く
資料：「1歳6か月・3歳児健康診査実績報告」

学 齡 期 (P83)

ア 不眠の状況

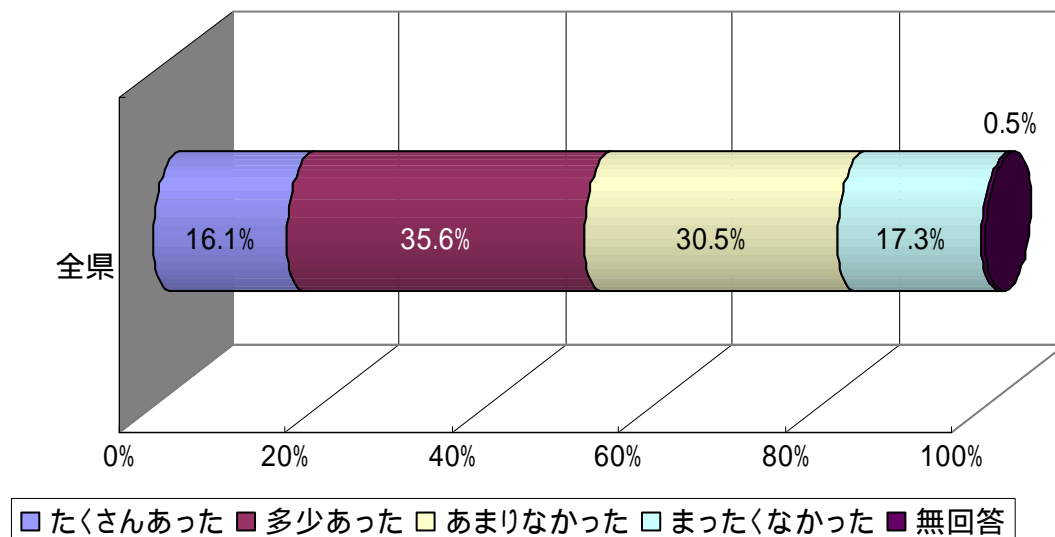
図表 不眠の状況



資料：「平成 23 年度中学生・高校生の健康づくり実態調査」

イ 不安・悩み・苦勞・ストレスの有無

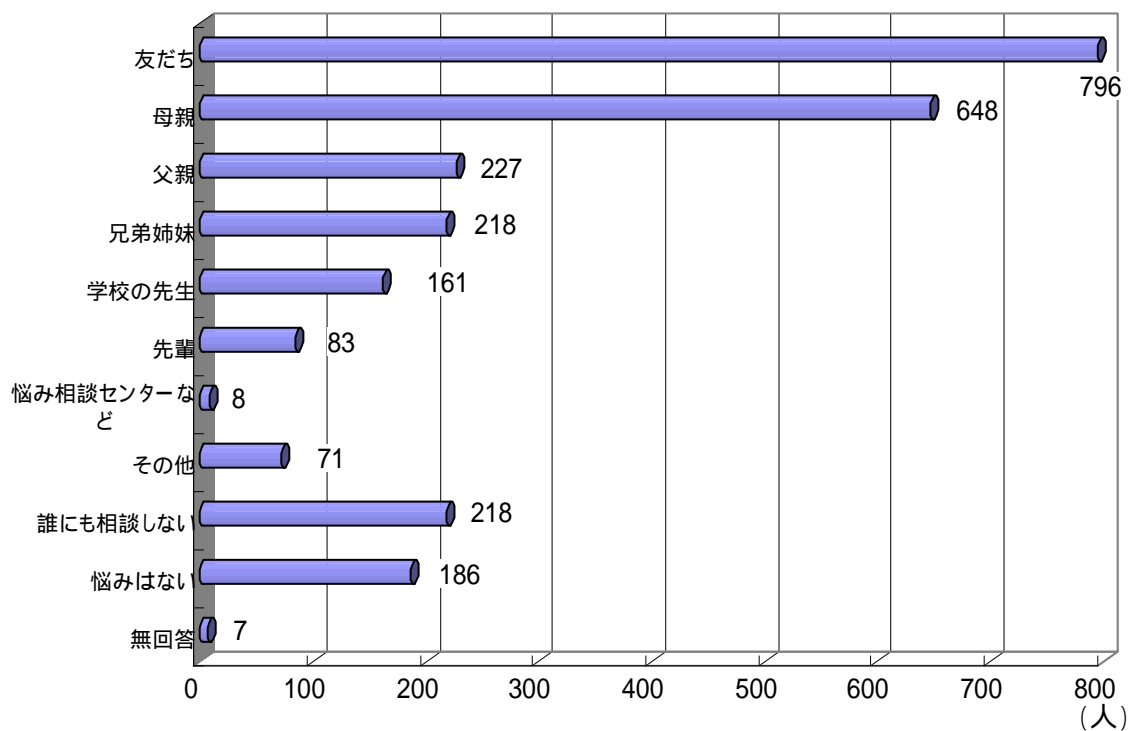
図表 不安・悩み・苦勞・ストレスの有無



資料：「平成 23 年度中学生・高校生の健康づくり実態調査」

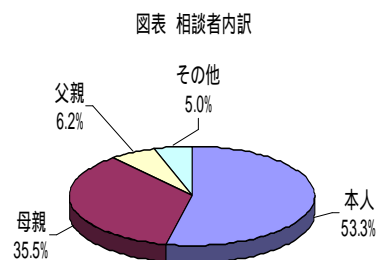
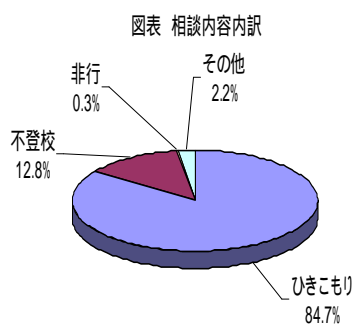
ウ 悩み事の相談相手

図表 悩み事の相談相手



資料：「平成 23 年度中学生・高校生の健康づくり実態調査」

エ こころの悩み等の相談状況



「ひょうごユースケアネットほっとらいん相談」(平成 22 年 5 月～平成 23 年 4 月)

成人期 (P87 ~ P88)

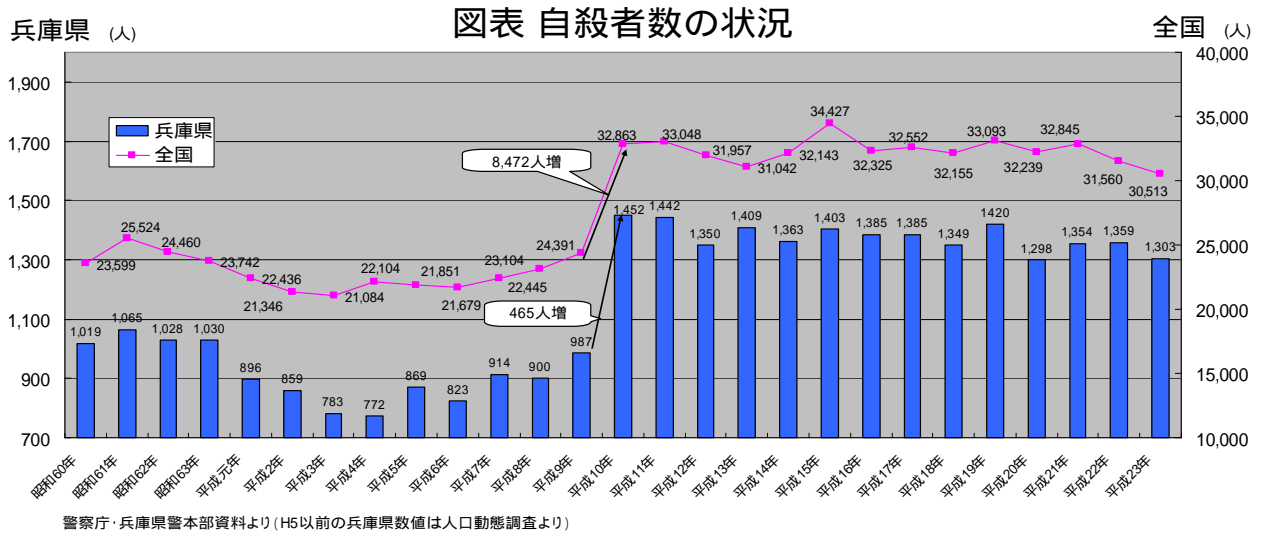
ア ストレスの有無(20歳以上)

表 ストレスを感じている人の割合

対象	H 16 年度	H 23 年度
20 歳以上	71.8%	65.2%

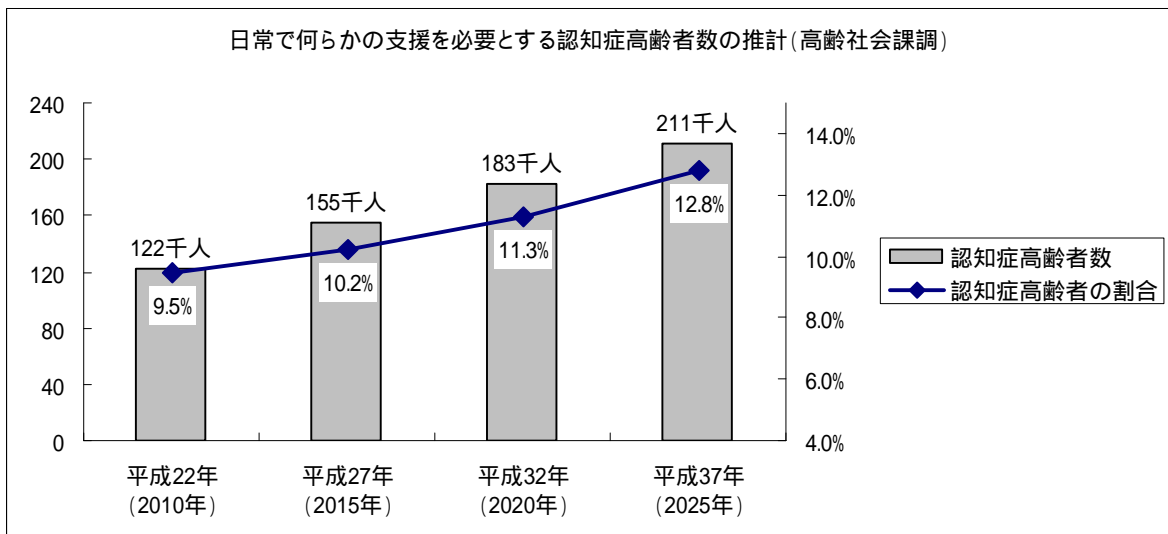
H 16 年：県民の健康づくり意識調査、23 年：健康づくり実態調査

イ 自殺者数の状況



高齢期 (P94)

認知症高齢者数の推計



資料：「高齢社会課調」

4 健康危機における健康確保対策

大規模災害 (P99、P100)

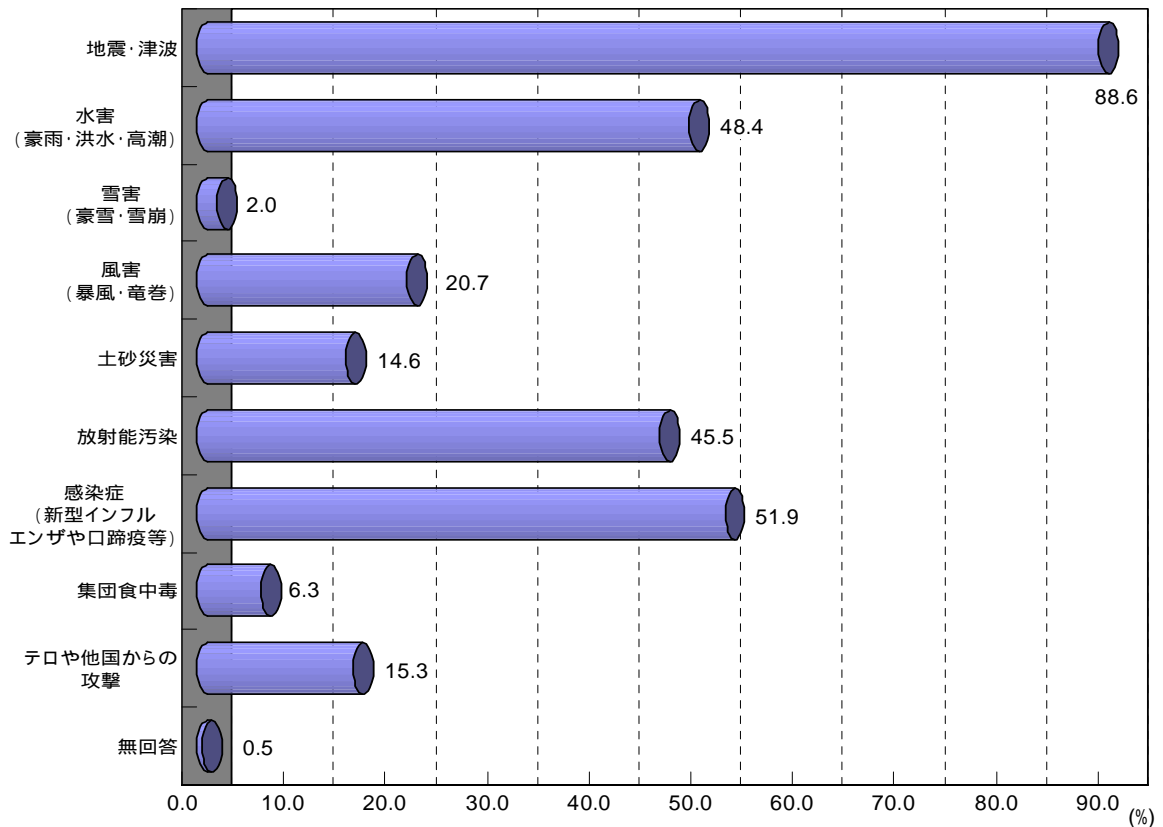
ア 県内のこれまでの主な健康危機事例

表 県内の主な健康危機事例

年月	健康危機事例
平成7年1月	阪神・淡路大震災
平成15年5月	台湾人医師のSARS感染
平成16年10月	台風23号による水害等(豊岡市、洲本市、南あわじ市、淡路市)
平成17年4月	JR福知山線脱線事故
平成21年4月	新型インフルエンザの発生
平成21年8月	台風9号による水害等(佐用町、宍粟市、朝来市)

イ 特に不安に感じている災害等

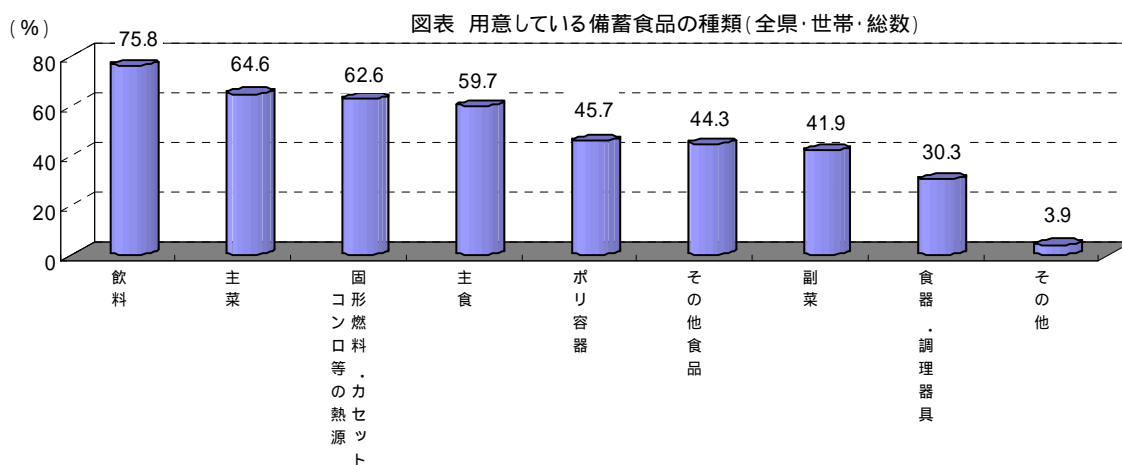
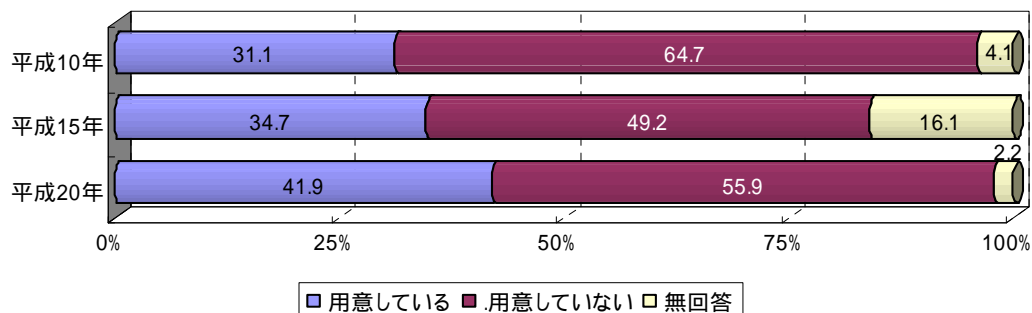
図表 特に不安に感じている災害等



資料：「平成23年度第17回県民意識調査」

ウ 非常時に備えての食の備蓄状況

図表 非常用食糧等の備蓄状況の年次推移(全県・世帯・総数)



資料：「平成20年度ひょうご健康食生活実態調査」

表 非常用食料等の備蓄状況の年次推移(圏域別)

圏域名	平成15年		平成20年	
	%	対象世帯数(人)	%	対象世帯数(人)
総数	34.7%	2876	41.9%	2185
神戸	55.7%	106	59.8%	122
阪神南	47.1%	376	54.3%	219
阪神北	46.1%	373	51.3%	271
東播磨	38.0%	326	47.0%	253
北播磨	26.3%	335	41.9%	222
中播磨	33.7%	202	38.0%	192
西播磨	23.6%	394	32.1%	243
但馬	27.4%	281	31.5%	216
丹波	23.3%	180	35.6%	219
淡路	32.7%	303	32.9%	228

資料：「平成20年度ひょうご健康食生活実態調査」

食中毒 (P104)

食中毒の発生状況

表 全国食中毒発生状況

原因物質	H22			H21			H20			H19			H18		
	事件	患者	死者	事件	患者	死者	事件	患者	死者	事件	患者	死者	事件	患者	死者
総数	1,254	25,972	-	1,048	20,249	-	1,369	24,303	4	1,289	33,477	7	1,491	39,026	6
サルモネラ属菌	73	2,476	-	67	1,518	-	99	2,551	-	126	3,603	-	124	2,053	1
ぶどう球菌	33	836	-	41	690	-	58	1,424	-	70	1,181	-	61	1,220	-
ボツリヌス菌	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-
腸炎ピブリオ	36	579	-	14	280	-	17	168	-	42	1,278	-	71	1,236	-
腸管出血性大腸菌(VT産生)	27	358	-	26	181	-	17	115	-	25	928	-	24	179	-
その他の病原大腸菌	8	1,048	-	10	160	-	12	501	-	11	648	-	19	902	-
ウェルシュ菌	24	1,151	-	20	1,566	-	34	2,088	-	27	2,772	-	35	1,545	1
セレウス菌	15	155	-	13	99	-	21	230	1	8	124	-	18	200	-
エルシニア・エンテロコリチカ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カンピロバクター・ジェジュニ/コリ	361	2,092	-	345	2,206	-	509	3,071	-	416	2,396	-	416	2,297	-
ナグビブリオ	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1	1	-	-	-	-
コレラ菌	-	-	-	-	-	-	3	37	-	-	-	-	-	-	-
赤痢菌	1	2	-	-	-	-	3	131	-	-	-	-	1	10	-
チフス菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パラチフスA菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の細菌	1	21	-	-	-	-	4	10	-	5	32	-	4	23	-
ウイルス	403	14,700	-	290	10,953	-	304	11,630	-	348	18,750	-	504	27,696	-
ノロウイルス	399	13,904	-	288	10,874	-	303	11,618	-	344	18,520	-	499	27,616	-
その他のウイルス	4	796	-	2	79	-	1	12	-	4	230	-	5	80	-
化学物質	9	55	-	13	552	-	27	619	-	10	93	-	15	172	-
自然毒	139	390	-	92	290	-	152	387	3	113	355	7	138	511	4
植物性自然毒	105	337	-	53	195	-	91	283	-	74	266	4	103	446	3
動物性自然毒	34	53	-	39	95	-	61	104	3	39	89	3	35	65	1
その他	28	29	-	17	19	-	17	47	-	8	20	-	7	23	-
不明	95	2,079	-	100	1,735	-	91	1,289	-	78	1,295	-	53	958	-

表 兵庫県食中毒発生状況

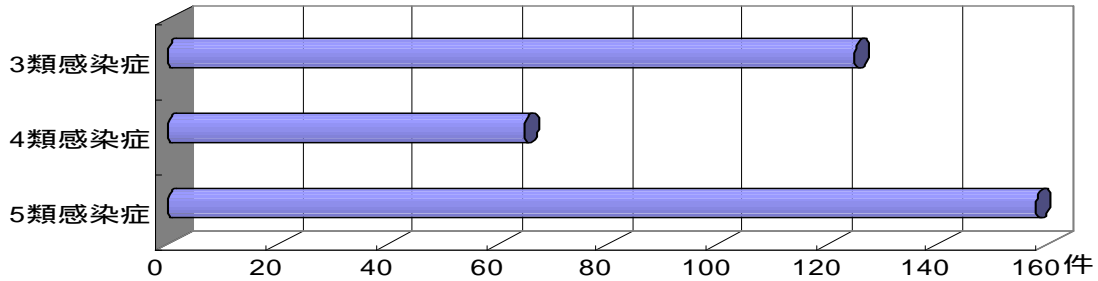
原因物質	H22			H21			H20			H19			H18		
	事件	患者	死者	事件	患者	死者	事件	患者	死者	事件	患者	死者	事件	患者	死者
総数	65	1,723	0	42	923	0	47	1,233	1	57	1,480	0	59	2,189	0
サルモネラ属菌	3	121	-	7	180	-	4	208	-	7	189	-	6	129	-
ぶどう球菌	1	15	-	1	12	-	2	39	-	6	82	-	5	191	-
ボツリヌス菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腸炎ピブリオ	3	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腸管出血性大腸菌(VT産生)	2	9	-	2	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の病原大腸菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウェルシュ菌	1	69	-	1	50	-	-	-	-	-	-	-	1	23	-
セレウス菌	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エルシニア・エンテロコリチカ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カンピロバクター・ジェジュニ/コリ	12	89	-	5	48	-	5	62	-	14	142	-	13	257	-
ナグビブリオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コレラ菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
赤痢菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
チフス菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パラチフスA菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の細菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウイルス	27	1,003	-	12	479	-	21	786	-	23	1,000	-	29	1,565	-
ノロウイルス(H15以前小型球形ウイルス)	27	1,003	-	12	479	-	21	786	-	23	1,000	-	29	1,565	-
その他のウイルス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
化学物質	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
自然毒	5	8	-	6	19	-	5	11	1	1	1	-	4	13	-
植物性自然毒	3	6	-	3	12	-	1	2	-	-	-	-	3	11	-
動物性自然毒	2	2	-	3	7	-	4	9	1	1	1	-	1	2	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	11	372	-	7	109	-	9	124	-	6	66	-	1	11	-

資料：「食中毒発生状況」

感染症 (P107)

ア 感染症法に基づく全数報告対象疾患(3・4・5類)届出数

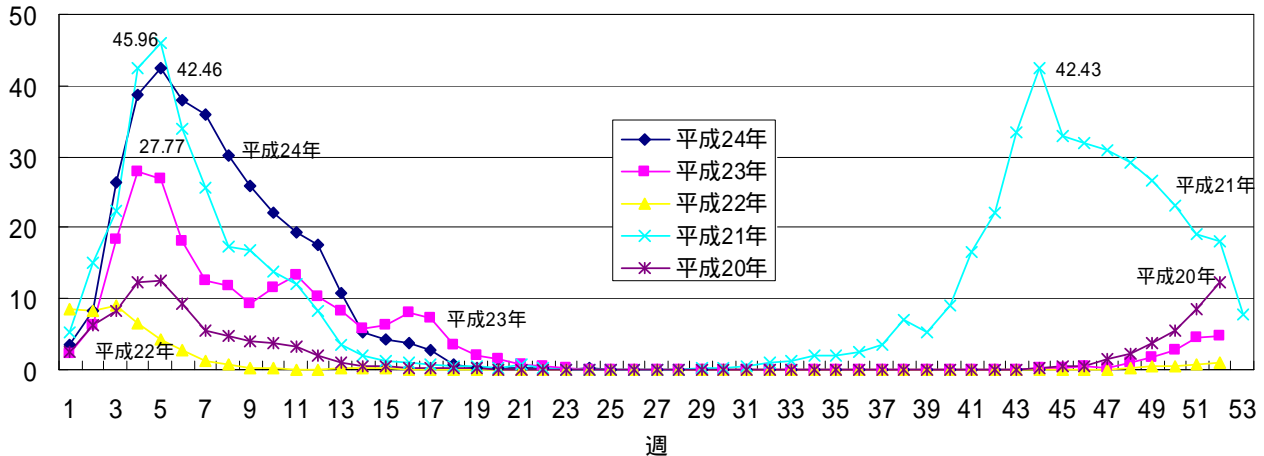
図表 感染症法に基づく全数報告対象疾患(3・4・5類)届出数



資料：「感染症発生動向調査」(兵庫県値)

イ インフルエンザの患者発生状況

図表 インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)

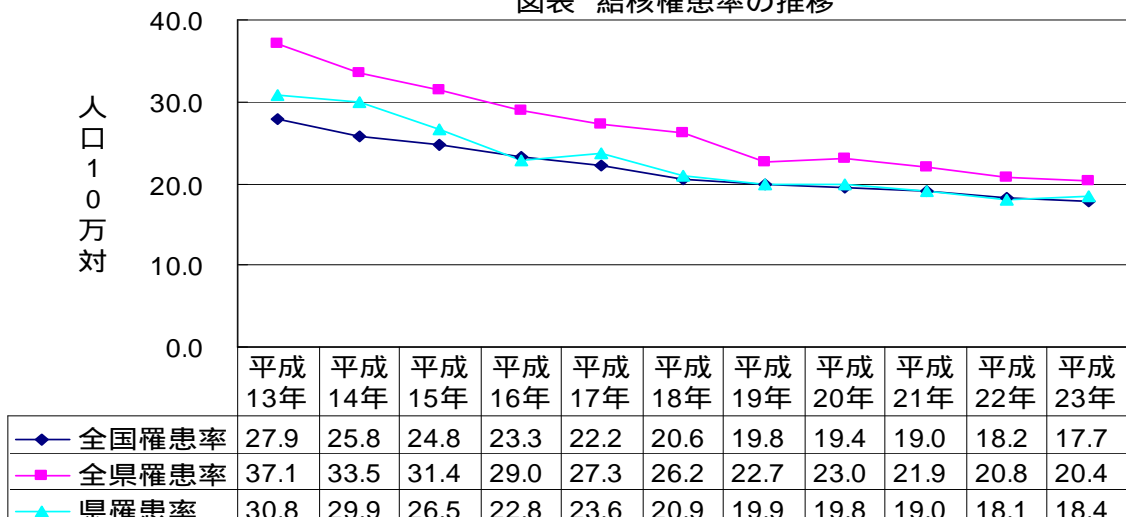


資料：「感染症発症動向調査」

注1：法律に基づいて県が「指定届出機関」を指定し(定点医療機関)、指定届出機関は厚生労働省令で定める感染症(インフルエンザ等)の発生状況を週単位(又は月単位)で届け出ている。

ウ 結核患者の状況

図表 結核罹患率の推移



資料：「感染症発生動向調査」

推進目標（数值目標）一覽

推進目標（数値目標）一覧

基本項目

項目	現状値	目標値 (平成29年度)
健康寿命の延伸 (日常生活動作が自立している期間の平均の延伸)	男性 78.47 年 女性 83.19 年 (厚生労働省算定プログラム 準拠:平成 21~23 年度)	1 年延伸
健康ひょうご 21 県民運動参画団体による活動件数の増加	13,495 件 (平成 23 年度実績数)	14,800 件
食の健康協力店の増加	店舗数: 6,692 店舗 (平成 23 年度健康増進課調)	8,000 店舗
利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加(管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合)	62.1% (平成 23 年度衛生行政報告例)	65%
かかりつけ医をもつ人の割合の増加	65.1% (平成 24 年度「美しい兵庫指標」県民アンケート)	70% (平成 30 年度)
かかりつけ歯科医をもつ人の割合の増加	70.0% (平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査)	84.0%
健康・介護まちかど相談薬局の設置数の増加	615 軒 (平成 23 年度薬剤師会調)	800 軒
まちの保健室の設置数の増加	585 箇所 (平成 23 年度健康増進課調)	635 箇所
栄養ケアステーションの設置数の増加	1 (平成 23 年度健康増進課調)	(検討中)
受動喫煙の防止等に関する条例に基づく受動喫煙対策の推進	[敷地内禁煙] 教育機関(幼稚園・小学校・中学校・高校):79.9% [建物内禁煙] 官公庁:78.0% 医療機関:79.4% 教育機関(大学・専門学校):87.4% [建物内禁煙又は完全分煙] 交通機関:34.7% 運動施設:84.8% 文化施設:83.6% 飲食店:19.6%	[敷地内禁煙] 教育機関(幼稚園・小学校・中学校・高校):100% [建物内禁煙] 官公庁:100% 医療機関:100% 教育機関(大学・専修学校):100% [建物内禁煙又は完全分煙] 交通機関:100% 運動施設:100% 文化施設:100%

	<p>宿泊施設: 17.1% (平成 20 年度受動喫煙防 止対策実施状況調査) 平成 24 年度健康増進 課調 条例施行前の喫煙室 を含む</p>	<p>飲食店(客室 100 m²超) : 100% 宿泊施設(フロ ントロビー100 m²超): 100% 条例施行前の喫 煙室を含む</p>
--	--	--

分野別計画

1 生活習慣病予防等の健康づくり

区分 ライフステージ	項目	現状値	目標値 (平成29年度)
妊産婦期	全出生数中の低出生体重児の割合の減少	9.6% (平成23年人口動態調査)	減少傾向へ
	妊娠11週以下での妊娠届出率の増加	87.1% (平成22年地域保健・健康増進事業報告)	100%
	妊娠届出時に保健師等専門職が全数に健康相談を行う市町数の増加	16市町(39.0%) (平成24年度健康増進課調)	41市町(100%)
	妊婦健診受診者数	42582人 (平成22年地域保健・健康増進事業報告)	全妊婦
	マタニティマークの普及を行っている市町数の増加	40市町(97.6%) (平成24年度健康増進課調)	41市町(100%)
	特定不妊治療費助成事業の利用者の増加	5,499件 (平成24年度健康増進課調)	増加
	妊婦・乳幼児のいる場での喫煙者の減少	家庭 17.9% (平成20年度受動喫煙防止対策実施状況調査)	家庭 0%
	妊婦への喫煙に関する指導を実施している市町数の増加	33市町(80.5%) (平成23年度健康増進課調)	41市町(100%)
	妊婦への飲酒に関する指導を実施している市町数の増加	33市町(80.5%) (平成23年度健康増進課調)	41市町(100%)
乳幼児期	新生児訪問または乳児家庭全戸訪問の実施率の増加	94.8% (平成23年度健康増進課調)	100%
	健診において健診未受診児を含めた把握率の増加	乳児健診 99.9% 1.6健診 99.5% 3歳児健診 99.2% (平成24年度の健康増進課調)	100%
	朝食を食べる人の割合の増加	(幼児1～5歳) 93.7% (平成20年度健康食生活実態調査)	100%
	適正体重を維持している人の割合の増加	(幼児4～5歳) 97.7% (平成23年度幼児・学童身体状況調査)	98%以上

	乳児のSIDS（乳児突発死症候群）の減少	8.4(出生10万対) (平成23年人口動態調査)	減少
	乳児の不慮の事故死亡率の減少	16.9(出生10万対) (平成23年人口動態調査)	減少
	定期予防接種の実施率の増加 ・ジフテリア・百日咳・破傷風（三種混合） ・BCG ・麻しん及び風しん	第 期 99.2% 第 期 追加 98.4% 第 期 75.0% 98.6% 第 期 94.6% 第 期 93.4% (平成22年度定期予防接種実績報告、平成23年度麻しん風しん予防接種の実施時容共等調査)	95%以上
	学齡期	適正体重を維持している人の割合の増加	(児童6～11歳) 92.4% (平成23年度幼児・学童身体状況調査)
	朝食を食べる人の割合の増加	(6～14歳) 92.6% (15～19歳) 78.9% (平成20年度健康食生活実態調査)	100% 87%以上
	新体力テストにおける全国平均と同等若しくは上回る項目の割合の増加 (小学生) (中学生) (高校生) 兵庫県スポーツ推進計画	66.7% 79.6% 88.9% (平成23年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査)	80.0% 80.0% 90.0% (平成33年度)
	未成年者の喫煙をなくす	中学1年生 男子0.7% 高校3年生 男子1.7% 中学1年生	0% 0%

		女子 0.0% 高校 3 年生 女子 1.9% (平成 23 年度中学生・高校性の健康づくり実態調査)	0% 0%
	未成年者の飲酒をなくす	中学 3 年生 男子 6.2% 高校 3 年生 男子 21.0% 中学 3 年生 女子 11.8% 高校 3 年生 女子 19.8% (平成 23 年度中学生・高校性の健康づくり実態調査)	0% 0% 0% 0%
	思春期保健対策に取り組む市町数の増加	23 市町 (56.1%) (平成 24 年度健康増進課調)	41 市町 (100%)
	10 歳代の人工妊娠中絶率の減少	5.7 (人口千対) (平成 22 年衛生行政報告例)	減少
	10 歳代の性感染症罹患率の減少	性器クラミジア 97 件 淋菌感染症 26 件 (平成 23 年兵庫県感染症発生動向調査)	減少
	思春期ピアカウンセラーの養成数の増加	270 人 (平成 24 健康増進課調)	増加
成人期	75 歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10 万人当たり)	86.5 (平成 22 年人口動態調査)	減少
	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少 (10 万人当たり)	男性 44.7 女性 23.2 (平成 22 年人口動態調査)	減少
	虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10 万人当たり)	男性 36.8 女性 15.3 (平成 22 年人口動態調査)	減少
	メタボリックシンドロームの予備群・該当者の割合の減少 (市町国保の県平均)	予備群 10.4% 該当者 15.1% (平成 22 年度市町国保法定報告)	予備群 9% 該当者 14%
	糖尿病合併症 (糖尿病による新規透析導入患者数) の減少	694 人 (わが国の慢性透析療法の現況 2010 年 12 月 31 日現在)	666 人
	糖尿病有病者のうち治療を継続している人の割合の増加	49.0% (平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査)	59%

主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防	COPD の認知度の向上	-	80% (平成 34 年度)
	ロコモティブシンドローム (運動器症候群) の認知度の向上	-	80% (平成 34 年度)
	がん検診受診率の増加 【職域を含むがん検診】	胃がん (40 歳以上) 26.5% 肺がん (40 歳以上) 18.8% 大腸がん (40 歳以上) 22.1% 乳がん (40 歳以上、過去 2 年) 女性 25.0% 子宮がん (20 歳以上、過去 2 年) 女性 27.3% (平成 22 年度国民生活基礎調査)	胃がん (40 ~ 69 歳) 40% 肺がん (40 ~ 69 歳) 40% 大腸がん (40 ~ 69 歳) 40% 乳がん (40 ~ 69 歳) 50% 子宮がん (20 ~ 69 歳) 50%
	特定健診・特定保健指導の実施率の向上 【全県平均】	特定健康診査の実施率：43.6% 特定保健指導の終了率：17.2% (平成 23 年度健康増進課推計)	特定健康診査の実施率：70% 特定保健指導の終了率：45%
	 【市町国保の県平均】	特定健康診査の実施率：31.0% 特定保健指導の終了率：22.7% (平成 23 年度市町国保法定報告(概数値))	特定健康診査の実施率：60% 特定保健指導の終了率：60%
	健康診断を受ける人の割合の増加	20 歳以上 59.8% (平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査)	72%
	健康診断(労働安全衛生法に基づく定期健康診断)の有所見率の減少	52.1% (定期健康診断結果報告)	減少傾向へ
	肝炎ウイルス検診の受診促進に取り組む市町数の増加	30 市町 (73.2%) (平成 24 年度健康増進課調)	41 市町 (100%)
	身体活動・	男性 20 歳以上 7,964 歩 女性 20 歳以上 7,063 歩 (平成 22 年国民健康・栄養調査)	男性 20 歳以上 9,000 歩以上 女性 20 歳以上 8,100 歩以上

運動	運動を継続している人の割合の増加 (運動・スポーツを行った日数)	週 1 回以上 58.4% 週 3 回以上 26.1% (平成 23 年度「美しい兵庫指標県民アンケート」)	週 1 回以上 66% 週 3 回以上 33% (平成 33 年)
	共食の増加(毎日、家族や友人と楽しく食事をする人の割合の増加)	86.4% (平成 20 年度健康食生活実態調査)	95%以上
栄養・食生活	朝食を食べる人の割合の増加	20 歳代男性 64.7% 20 歳代女性 70.0% (平成 20 年度健康食生活実態調査)	20 歳代男性 71%以上 20 歳代女性 77%以上
	女性 20 歳代やせの人の割合の減少	25.3% (平成 20 年度健康食生活実態調査)	23%以下
	適正体重を維持している人の割合の増加	男性 15 歳以上 70.9% 女性 15 歳以上 74.4% (平成 20 年度健康食生活実態調査)	男性 15 歳以上 74% 女性 15 歳以上 77%
	ほぼ毎日体重を測定する人の割合の増加	男性 20 歳以上 14.2% 女性 20 歳以上 22.7% (平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査)	男性 20 歳以上 20%以上 女性 15 歳以上 30%以上
	外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする人の増加	男性 15 歳以上 25.6% 女性 15 歳以上 55.5% (平成 20 年度健康食生活実態調査)	男性 15 歳以上 31%以上 女性 15 歳以上 67%以上
	脂肪エネルギー比率の適正化	15 歳以上 28.1% (平成 20 年度健康食生活実態調査)	15 歳以上 25%以下
	野菜の 1 日当たり平均摂取量の増加	15 歳以上 243.3g (平成 20 年度健康食生活実態調査)	15 歳以上 350g 以上
	1 日の食事において、果物類を摂取している人の増加	20 歳以上 37.8% (平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査)	20 歳以上 45%
	食塩摂取量の減少	15 歳以上 10.0g (平成 20 年度健康食生活実態調査)	15 歳以上 8g (平成 34 年度)

喫煙	メタボリックシンドロームを認知している人の割合の増加	77.7% (平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査)	90%
	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識を知っている人の割合の増加	肺がん 85.2% 喘息 67.6% 気管支炎 67.5% 心臓病 49.8% 脳卒中 51.4% 胃潰瘍 33.8% 妊娠に関連した異常 78.4% 歯周病 43.0% (平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査)	肺がん 90% 喘息 80% 気管支炎 80% 心臓病 60% 脳卒中 60% 胃潰瘍 50% 妊娠に関連した異常 90% 歯周病 50%
	習慣的に喫煙している人の割合の減少	男性 25.8% 女性 5.8% 30 歳代男性 31.6% 40 歳代男性 35.5% 30 歳代女性 11.4% 50 歳代女性 10.0% (平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査)	20 歳以上男性 19% 20 歳以上女性 4% 30 歳代男性 23% 40 歳代男性 26% 30 歳代女性 5% 50 歳代女性 6%
	禁煙指導を行う医療機関の数の増加	703 機関 (平成 24 年度健康増進課調)	(検討中)
	禁煙指導を行う薬局・薬剤師の数の増加	薬局 902 軒 薬剤師 1,741 人 (平成 24 年度薬剤師会調べ)	薬局 1,000 軒 薬剤師 2,100 人

	飲酒	「節度ある適度な飲酒」の知識を知っている人の割合の増加	男性 65.6% 女性 67.0% <small>(平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査)</small>	男性 80% 女性 80%
		生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（一日あたりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上、女性 20g 以上の者）の割合の減少	男性 12.4% 女性 5.9% <small>(平成 23 年度兵庫県健康づくり実態調査)</small>	男性 10.0% 女性 5.0%
高齢期		地域活動組織（グループ活動等）を把握している市町数の増加	32 市町（78.0%） <small>（平成 23 年度高齢社会課調べ）</small>	41 市町（100%）
		住民主体の介護予防に資する活動がある市町数の増加	23 市町（56.0%） <small>（平成 24 年度高齢社会課調べ）</small>	41 市町（100%）
		予防接種を実施する人の割合の増加（インフルエンザ）	51.7% <small>(平成 23 年度予防接種法に基づくインフルエンザワクチン予防接種状況調査)</small>	53%以上

2 歯及び口腔^{くわう}の健康づくり

区分 ライフステージ	項目	現状値	目標値 (平成29年度)
妊産婦期	妊婦歯科健診、または歯科専門職による相談に取り組む市町数の増加	32市町 (78.0%) (平成23年度健康増進課調査)	41市町 (100%)
乳幼児期	3歳児のむし歯のない者の割合の増加	82.8% (平成23年度3歳児歯科健診結果調査)	87%以上
	3歳児のむし歯のない者の割合が80%以上である市町数の増加	29市町 (70.7%) (平成23年度3歳児歯科健診結果調査)	33市町以上 (80.4%)
学齢期	12歳児での一人平均むし歯数の減少	1.18歯 (平成23年保育所、幼稚園及び学校における歯科健診結果調査)	1歯未満
	12歳児での一人平均むし歯数が1.0未満である市町の増加	9市町 (22.0%) (平成23年保育所、幼稚園及び学校における歯科健診結果調査)	16市町以上 (39%)
成人期	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加(20歳以上)	46.9% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	56%以上
	8020運動目標達成者割合の増加	40歳 64.1%	40歳 77%以上
	40歳 28歯以上	50歳 76.9%	50歳 92%以上
	50歳 25歯以上 60歳 24歯以上	60歳 61.1% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	60歳 73%以上
	歯間清掃用具を使用する人の割合の増加(20歳以上)	45.1% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	54%以上
	定期的な歯石除去や歯面清掃する人の割合の増加(20歳以上)	24.6% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	30%以上
高齢期	8020運動目標達成者割合増加	70歳 53.5%	70歳 64%以上
	70歳 22歯以上 80歳 20歯以上	80歳 35.2% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	80歳 42%以上
	介護予防事業において口腔機能向上プログラムを実施している市町数の増加	36市町 (87.8%) (平成23年度市町歯科保健対策実施条項調査)	41市町 (100%)

特に配慮を要する方 ・ 障害者(児) ・ 要介護高齢者 ・ 難病患者	障害(児)者入所施設での定期的な 歯科健診実施率の増加	65.8% (平成24年度健康増進課 調べ)	80%以上
	介護老人福祉施設及び介護老人保 健施設での定期的な歯科健診実施 率の増加	28.9% (平成24年度健康増進課 調べ)	35%以上

3 こころの健康づくり

区分 ライフステージ	項目	現状値	目標値 (平成29年度)
妊産婦期	産婦のうつチェックを実施する市町数の増加	27市町 (65.9%) (平成24年度健康増進課調)	41市町 (100%)
乳幼児期	5歳児発達相談を実施する市町数の増加	13市町 (31.7%) (平成24年度健康増進課調)	41市町 (100%)
思春期	眠れないことが頻繁にある人の割合の減少(中学1年生、中学3年生、高校1年生、高校3年生)	6.2% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	5%以下
	ストレスがたくさんあったと感じる人の割合の減少(中学1年生、中学3年生、高校1年生、高校3年生)	16.1% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	13%以下
	悩みがあった時に誰にも相談しない人の割合の減少(中学1年生、中学3年生、高校1年生、高校3年生)	15.6% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	12%以下
成人期	ストレスを大いに感じる人の割合の減少	22.9% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	18%以下
	自殺者数の減少	1,303人 (平成23年警察統計[兵庫県値])	1,000人以下 (平成28年)
	眠れないことが頻繁にある人の割合の減少	11.2% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	9%以下
	悩み・苦勞・ストレス・不満などがあつたとき、相談できない人(相談したいがためらう、相談先がわからない人)の割合の減少	10.5% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	8%以下
	多量に飲酒する人の割合の減少(1日平均純アルコール60gを超えて飲む人の割合)	男性2.3% 女性0.3% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	男性1.8%以下 女性0.2%以下
	1年未満の入院者の平均退院率の増加	799/月【69.8%】 (平成20年6月) (630調査「精神保健福祉資料」)	815/月【71.2%】 (平成26年6月)
	1年以上の入院者の退院率の増加	127/月【20.1%】 (平成20年6月) (630調査「精神保健福祉資料」)	160/月【25.4%】 (平成26年6月)
高齢期	認知症予防教室を受講する人の増加	-	10千人 (平成28年)
	キャラバン・メイト、認知症サポーター数の増加	61千人 (平成22年度末全国キャラバン・メイト連絡協議会調)	214千人 (平成26年)

第3期兵庫県障害福祉計画

4 健康危機における健康確保対策

区分	目標	現状値	目標値 (平成29年度)
大規模災害	災害に備え、非常食等を備蓄している世帯の割合の増加	41.9% (平成20年度健康食生活実態調査)	60%以上 (平成28年)
	災害時保健指導マニュアル策定市町数の増加	7市町(17.1%) (平成24年度健康増進課調べ)	41市町(100%)
	在宅人工呼吸器装着難病患者災害時支援指針にもとづく個別災害対応マニュアルの作成割合の増加	76.3% (平成24年度疾病対策課調べ)	100%
食中毒	1事件当たり患者数が50名を超える食中毒の発生をなくす	3件 (平成23年度)	0件
	学校給食を原因とする食中毒発生をなくす	0件 (平成23年度)	0件
	腸管出血性大腸菌感染症(O157)の集団発生をなくす	0件 (平成23年度)	0件
感染症	家庭での感染症予防対策に取り組む人の割合の増加	手洗い 86.1% うがい 74.2% マスク 49.4% ワクチン接種 40.4% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	手洗い 95% うがい 89% マスク 59% ワクチン接種 48%
	定期予防接種の実施率(再掲)	1 生活習慣病等の健康づくり 乳幼児期 参照	
	予防接種を実施する人の割合の増加(インフルエンザ)(再掲)	1 生活習慣病等の健康づくり 高齢期 参照	
	腸管出血性大腸菌感染症(O157)の集団発生をなくす(再掲)	4 健康危機における健康確保対策 食中毒 参照	

食育推進計画(第2次)

用語解説

用語解説

	p	用語	解説
1	1	健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間をいう。
2	1	健康格差	地域や社会経済状況の違いによる集団間の健康状態の差をいう。
3	5	健康増進プログラム	県が平成 17 年度に兵庫県健康財団に委託して作成した、生活習慣病予防及び介護予防を推進するため、個々人の健康状態や体力にあったプログラムを提供するシステムをいう。
4	5	e-チェックプログラム	県が平成 18 年度に作成した、インターネットを活用し、いつでも簡単に自らの「健康チェック」が行えるシステムをいう。
5	5	かかりつけ医	日頃から気軽に健康相談にも応じる地域の初期医療の中核的な担い手であり、必要があれば適切な専門医を紹介し、在宅療養を支援するなど、生活の中で患者を支えながら、医療サービスを提供する医師。
6	5	かかりつけ歯科医	治療だけでなく定期健診や口腔ケアなど口腔に関することを患者のライフサイクルに沿って提供し、地域に密着した活動を行う歯科医師。
7	6	地域医療連携パス	病期（病気あるいは病状の各時期）により、その時期に最も適切な医療機能を持つ病院・施設で切れ目の無い医療を受けられるようにするための道具（治療計画書、ロードマップ）に当たるものをいう。
8	8	栄養ケアステーション	管理栄養士、栄養士が地域や医療機関に対して栄養支援を行う拠点をいう。
9	15	認知症サポーター	認知症について正しい知識をもち、認知症の人と家族を温かく見守る応援者で、市町が開催する「認知症サポーター養成講座」を受講した者をいう。
10	15	キャラバン・メイト	「認知症サポーター養成講座」の講師となる人で、県や市町等が開催するキャラバン・メイト養成研修を受講し、登録されている者をいう。
11	49	ロコモティブシンドローム（運動器症候群）	運動器の障害（変形性関節症、脊椎症、骨粗鬆症、骨折など）により要介護になるリスクの高い状態のことをいう。

	p	用語	解説
12	51	誤嚥性肺炎	誤って食物や唾液等が気道から肺に入り、細菌感染等によって起こる肺炎のこと。加齢による気管の感覚低下により、むせの症状がなくても誤って気管に入っていること（むせない誤嚥）もある。発熱や咳き込み、食欲低下等の症状がある
13	54	咀嚼・嚥下機能	食べ物を口から食べ、飲み込む機能のこと
14	54	フッ化物応用	<p>フッ化物とは、フッ素を含む化合物のこと。むし歯予防に利用されるのは、主にフッ化ナトリウム(NaF)やリン酸酸性フッ化ナトリウム(APF)。むし歯予防の局所応用方法としては、フッ化物洗口、フッ化物歯面塗布、フッ化物配合歯磨剤の使用がある。</p> <p>フッ化物洗口 むし歯予防のため、低濃度のフッ化ナトリウム溶液を用いて行う洗口（ブクブクうがい）のこと。学校等において集団で利用する場合と家庭で利用する場合がある。ブクブクうがいができる人に応用され、1日1回行う方法と、週1~2回行う方法があり、歯科医師の指導のもとに行われる。</p> <p>フッ化物歯面塗布 むし歯予防のため、フッ化物を含む薬剤を歯に直接塗布する方法のこと。歯科医師、または、歯科医師の判断のもとに歯科衛生士が行い、使用する薬剤には、溶液タイプ、ゲルタイプがある。年数回定期的に実施することで、より効果が得られる。フッ化物洗口のできない幼児や障害児のむし歯予防手段として有用である。</p> <p>フッ化物配合歯磨剤 フッ化物が入っている歯磨剤のこと。個人の選択により、家庭でも手軽に応用できる方法。</p>
15	58	歯肉炎	炎症が歯肉（歯ぐき）に限局した歯周疾患のこと。歯肉が赤く腫脹したり、歯肉から出血する等の自覚症状がある。
16	58	歯周病	歯周組織（歯肉や歯を支えている骨、歯の根の膜等のこと）が歯垢（プラーク）に含まれている『歯周病菌（細菌）』に感染し、歯肉（歯ぐき）が腫れたり、出血したり、最終的には歯が抜けてしまう、日本人が歯を失うもっとも大きな原因の歯の周りの病気の総称。

	p	用語	解説
17	58	歯間清掃用具	歯ブラシでは取り除き難い歯と歯の間の歯垢を取り除く補助器具のこと。デンタルフロス（糸付きようじ）や歯間ブラシがある。
18	62	口腔 ^{くわう} ケア	口腔 ^{くわう} の疾病予防、健康保持・増進、リハビリテーションにより、QOLの向上をめざした科学であり技術。 狭義には、介護者による日常的な口腔ケア（介護者が歯科医師・歯科衛生士の歯科保健指導を受けて日常的に行う清掃）と歯科医師・歯科衛生士による専門的口腔ケア（歯科治療、歯科保健指導、専門的口腔清掃、摂食機能訓練）がある。
19	62	標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル	平成21年7月に日本歯科医師会が作成した、疾病予防（一次予防）を中心とした歯科健診の具体的な指針。20の質問からなる事前質問紙調査を中心に簡便な問診で成人の歯の健康状況をスクリーニングし、生活習慣の改善に向けた保健指導を行うもので、従来の疾病発見型から、行動・環境リスク発見型・行動変容支援型歯科健診への転換を目指している。
20	72	摂食・嚥下障害	脳血管疾患や老化等によって、「食べ物を食べる・飲み込む」機能が低下し、起こる障害のこと。むせ、誤嚥、窒息等がある